

# Otsuka & Autodesk Collaboration Day 2025



PM-K1

## Autodesk 建築キーノート

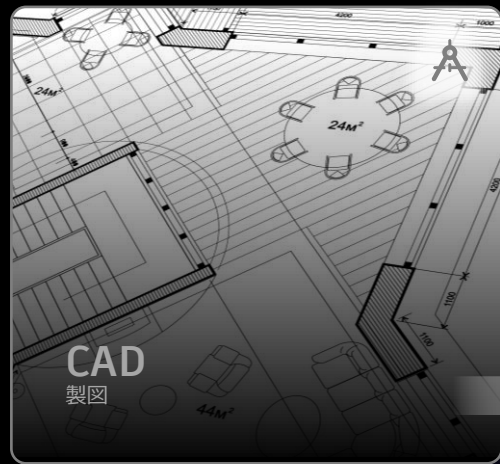
オートデスク株式会社

日本地域営業統括 技術営業本部  
建築ソリューション部 建築ソリューションリーダー  
AECテクニカルソリューションエンジニア

橋田 憲人

# AM - Autodesk セッション サマリー : 建築

## AI を活用した成果ベースの BIM



単体製品



業種別製品



コネクテッド製品のハイブリッド ポートフォリオ



インダストリー クラウド

CAD

BIM

テクノロジーの進化

## BIM

- BIMによる確認申請
- BIMがより使いやすく！
- 施工BIM（建築/設備）

## 共通データ環境（CDE）

- 設計・施工での活用
- オーナーでの活用

## データ活用

- BIM/CDEのデータ活用
- BIMと連携したソリューション

## BIM

- BIMによる確認申請
- BIMがより使いやすく！
- 施工BIM（建築/設備）

## 共通データ環境（CDE）

- 設計・施工での活用
- オーナーでの活用

## データ活用

- BIM/CDEのデータ活用
- BIMと連携したソリューション

# BIM = 信頼できる唯一の情報源

## Single Source of Truth

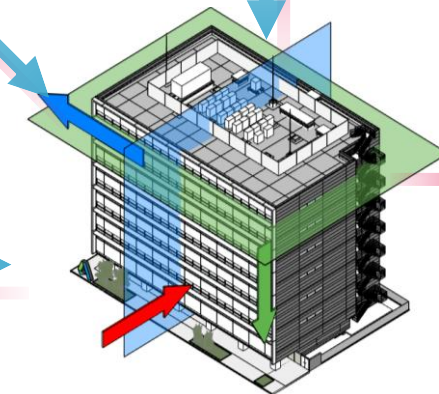
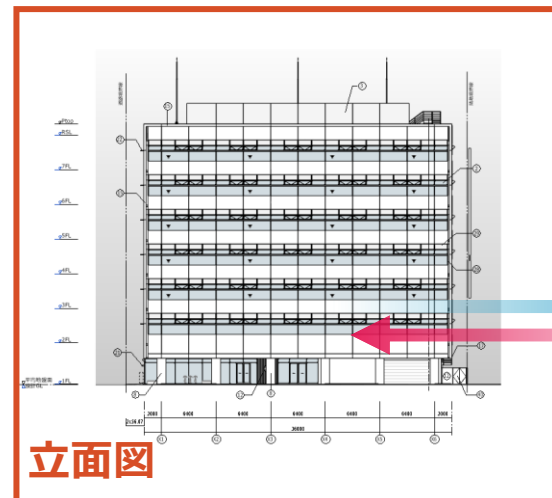
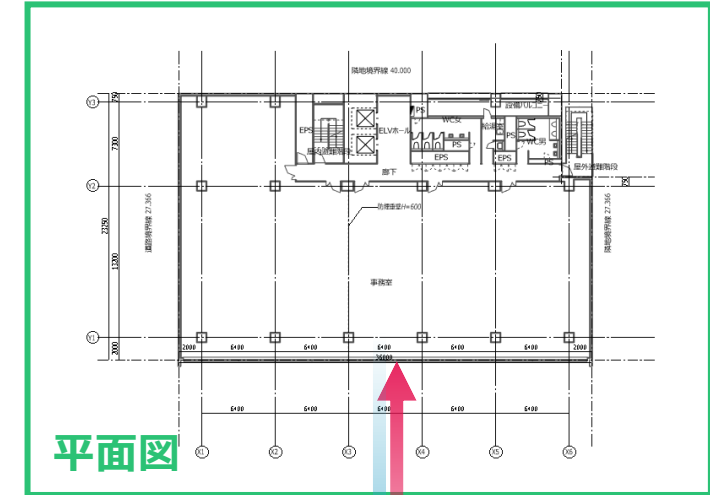
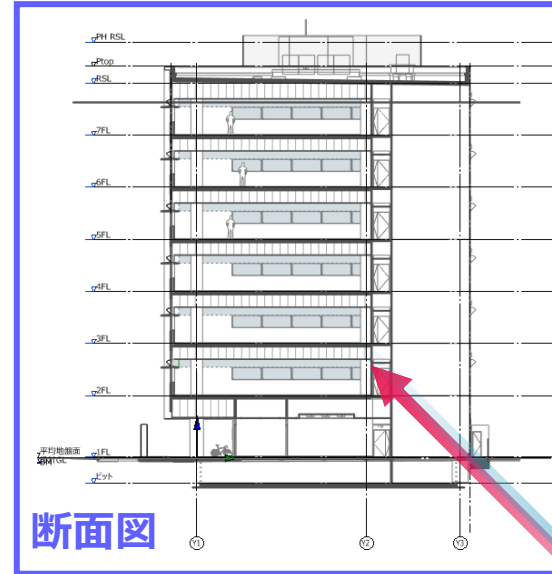
- **2D CAD**の図面/表

- 個別に情報を描込んで図面を作成
- 図面の整合チェックが必要
- 表は手作業で作成



- **BIM**の図面/表

- データベースから情報を取り出して図面を作成
- 図面の整合チェックが不要
- 表は自動で作成



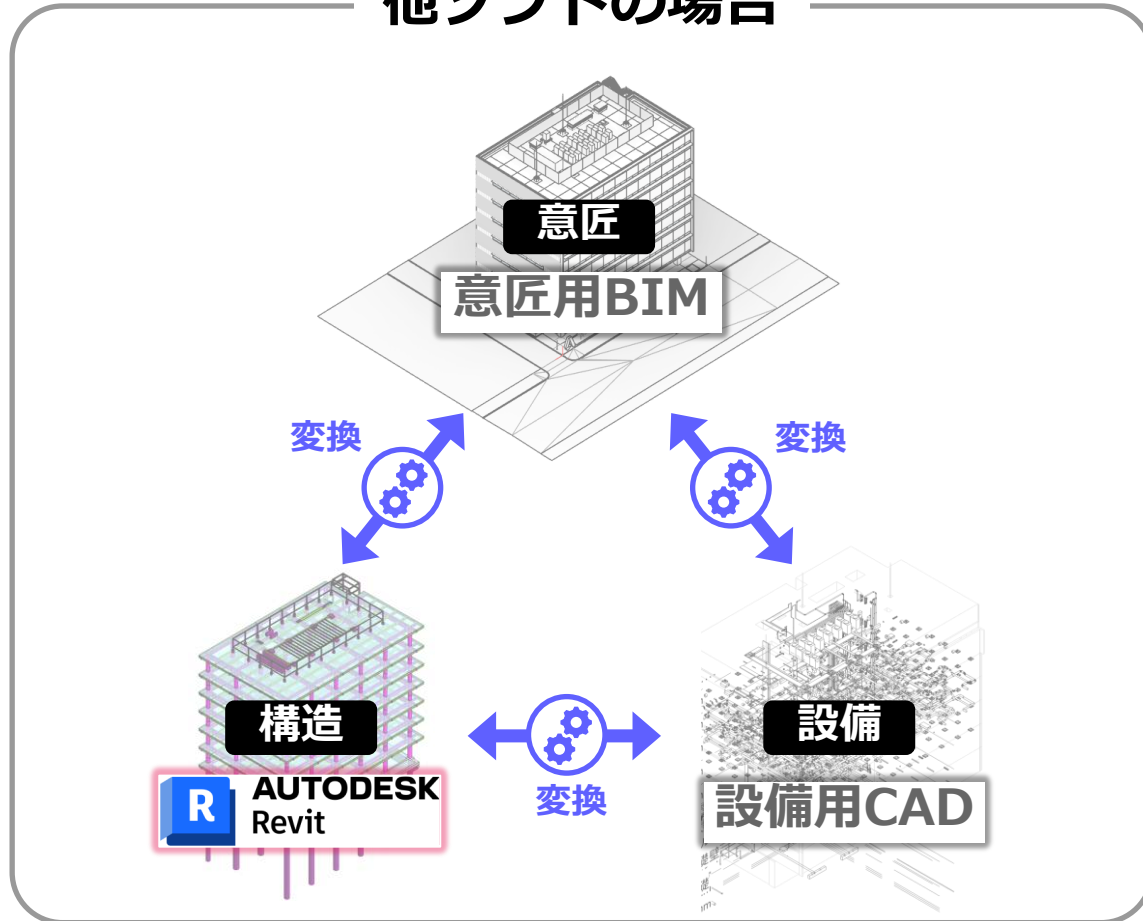
品名	数量	単位	仕様	備考	作成	確認
鉄骨	10	kg	SS400		2024/01/10	ABC
鉄骨	20	kg	SS400		2024/01/10	ABC
鉄骨	30	kg	SS400		2024/01/10	ABC
鉄骨	40	kg	SS400		2024/01/10	ABC
鉄骨	50	kg	SS400		2024/01/10	ABC
鉄骨	60	kg	SS400		2024/01/10	ABC
鉄骨	70	kg	SS400		2024/01/10	ABC
鉄骨	80	kg	SS400		2024/01/10	ABC
鉄骨	90	kg	SS400		2024/01/10	ABC
鉄骨	100	kg	SS400		2024/01/10	ABC
鉄骨	110	kg	SS400		2024/01/10	ABC
鉄骨	120	kg	SS400		2024/01/10	ABC
鉄骨	130	kg	SS400		2024/01/10	ABC
鉄骨	140	kg	SS400		2024/01/10	ABC
鉄骨	150	kg	SS400		2024/01/10	ABC
鉄骨	160	kg	SS400		2024/01/10	ABC
鉄骨	170	kg	SS400		2024/01/10	ABC
鉄骨	180	kg	SS400		2024/01/10	ABC
鉄骨	190	kg	SS400		2024/01/10	ABC
鉄骨	200	kg	SS400		2024/01/10	ABC

集計表

# Revitは意匠・構造・設備すべてに対応

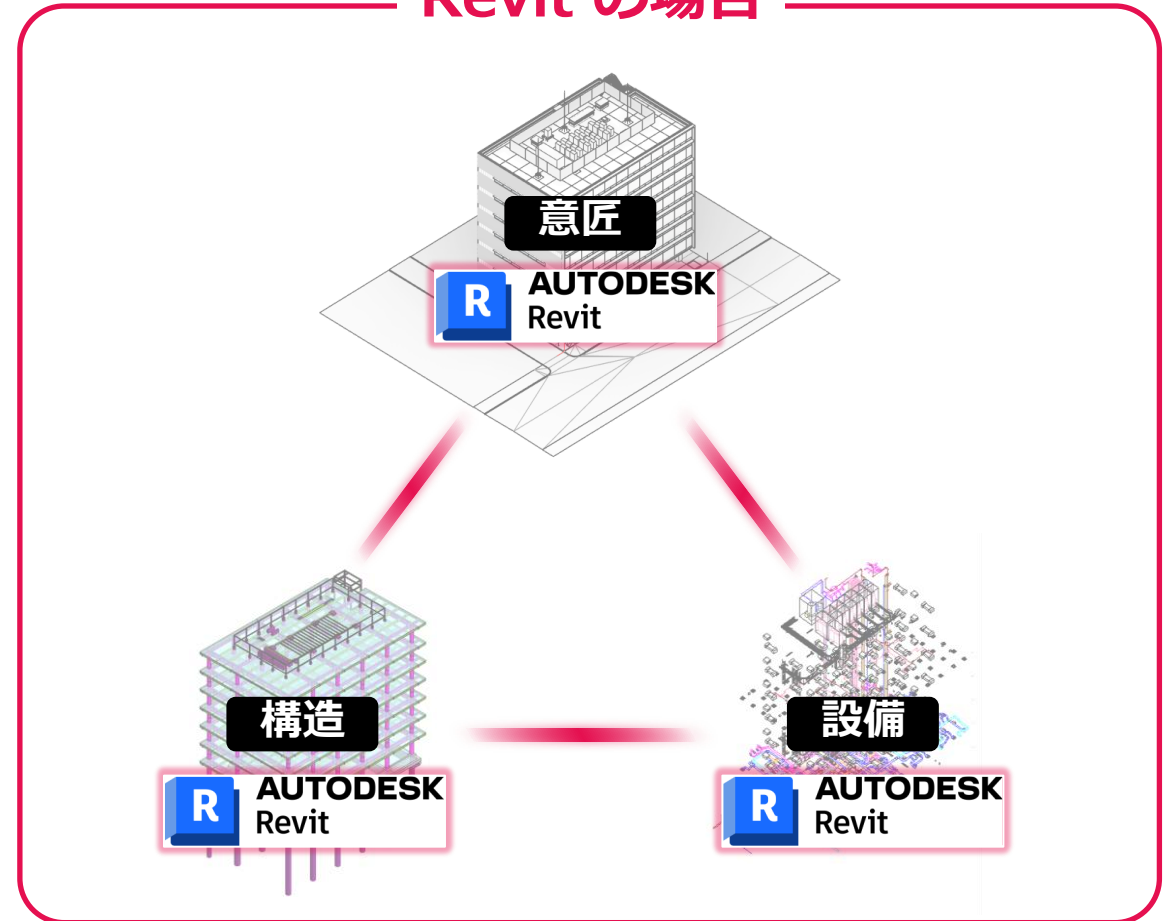
分野間の**変換作業が不要**なため**高品質かつ高効率**

## 他ソフトの場合



データ変換が必要 → データの欠落リスク

## Revit の場合



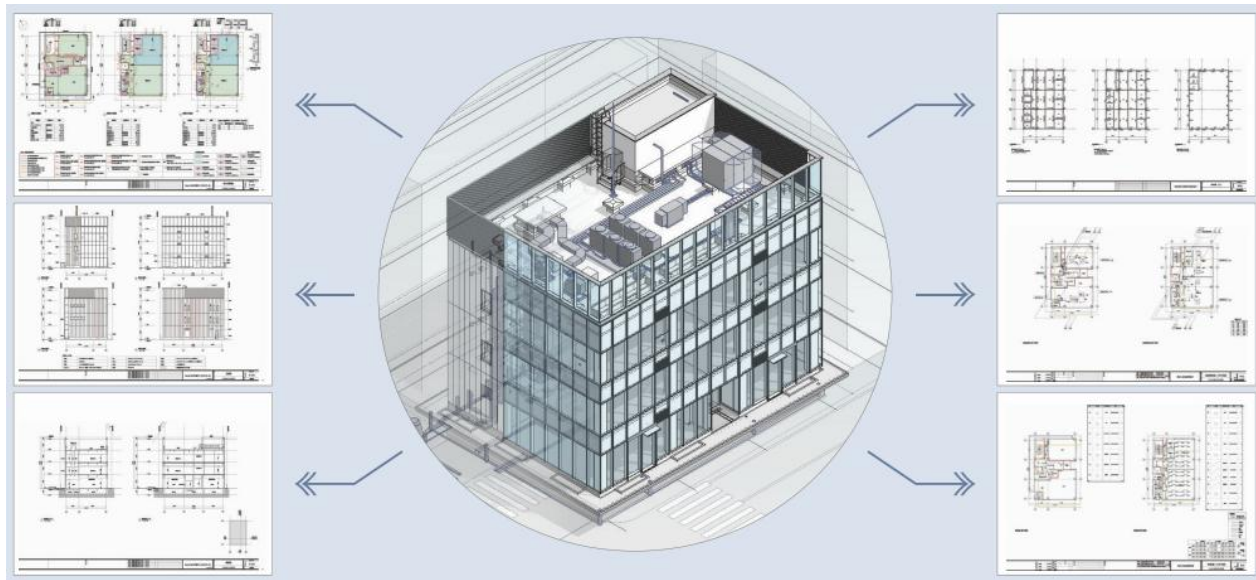
データ変換が不要 → 整合性が担保 + 即時連携

# BIM確認申請 2026年開始

BLCJ (BIMライブラリ技術研究組合) にてサンプルモデルが公開

- 意匠・構造・設備の3分野

- ▶ **すべてカバーしているのはRevitのみ**
- ▶ **設計BIMはより一層Revit化の傾向が強まる**
- ▶ **設計BIMを施工で最大限活用するにはRevit**

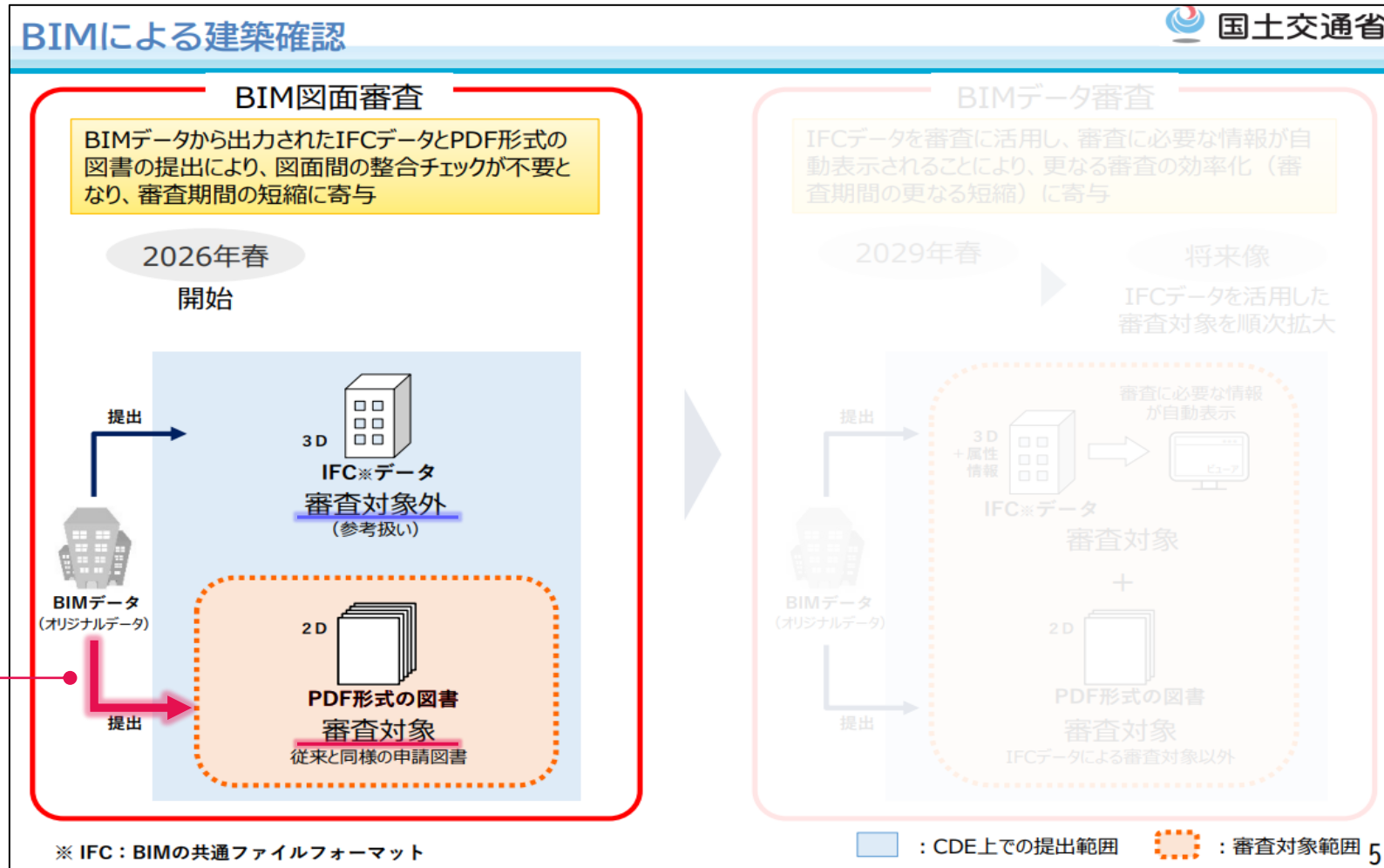


● サンプルモデル

種別	対応BIMソフトウェア等	
意匠	Revit (.rvt)、PDF、IFC (2バリエーション)  AUTODESK Revit	サンプルモデル①※1
		サンプルモデル②※1
	Archicad (.pln)、PDF、IFC	
	Vectorworks (.vwx)、PDF、IFC	
	GLOBE (.GLM)、PDF、IFC	
構造	Revit (.rvt)、PDF、IFC  AUTODESK Revit	
設備 (電気/機械)	Revit (.rvt)、PDF、IFC (3バリエーション)  AUTODESK Revit	サンプルモデル①※2
		サンプルモデル②※2
		サンプルモデル③※2
	Rebro (.reb)、PDF、IFC	
	CADWe'll T-fas/Linx (.linx)、PDF、IFC	
	CADEWA Smart (.zdw)、PDF、IFC	
	FILDER Ceed (.dcd)、PDF、IFC	

# 確認申請への対応

## BIM図面審査の概要



# 確認申請への対応

## BIM図面審査の概要

### 申請準備：入出力基準



- 分野ごとの入出力基準の項目
- 設計関係団体において、BIM 図面審査で用いる入出力基準を満たすよう設定された参考テンプレートが提供されている。テンプレートの使用については、入出力基準を満たすことができるものであれば、任意のテンプレートを使用することができる。



部門	意匠	構造	設備
事項	意-001 敷地境界線	<共通>	<機械設備>
	意-002 方位	共通-001 通り芯	機-001 外壁、間仕切壁、開口部
	意-003 通り芯	共通-002 各階基準線	機-002 敷地境界線
	意-004 外壁	<基礎>	機-003 通り芯
	意-005 軒、ひさし等	基礎-001 基礎ぐい	機-004 各室の用途
	意-006 間仕切壁	基礎-002 基礎	機-005 各階の各室の床面積の求積
	意-007 各室の用途	<鉄筋コンクリート造>	に必要な建築物の各部分の
	意-008 各階基準線	RC-001 柱	寸法及び算式
	意-009 各階の床・軒・ひさし・屋根 (天井のない場合は、屋根)	RC-002 大ばり	機-006 各室の天井高さ
	意-010 建築面積の求積に必要な建築物の各部分の寸法及び算式	RC-003 小ばり	機-007 防火区画等
	意-011 各階の各室の床面積の求積に必要な建築物の各部分の寸法及び算式	RC-004 床版(デッキ床含む)	機-008 令第112条第16項に規定する部分
	意-012 防火区画等	RC-005 屋根版	機-009 防煙壁による区画 (令第126条の2)
	意-013 防煙壁による区画 (令第126条の2)	RC-006 耐力壁	機-010 給気機及び排気機
	意-014 開口部	RC-007 非耐力壁	機-011 排煙設備
	意-015 防火設備	<鉄骨造>	<電気設備>
	意-016 非常用の進入口等	S-001 柱	電-001 外壁、間仕切壁、開口部
	意-017 令第112条第16項に規定する部分	S-002 大ばり	電-002 敷地境界線
	意-018 令第126条第1項に規定する手すり壁、さく又は金網	S-003 小ばり	電-003 通り芯
	S-004 鋼板床	電-004 各室の用途	
	S-005 斜材	電-005 防火区画等	
	S-006 鋼板壁	電-006 令第112条第16項に規定する部分	
		電-007 非常用の照明装置	

# 確認申請への対応

## BIM図面審査の概要

### 申請準備：入出力基準 BIMによる連動表示



#### 意-016 非常用の進入口等

##### ①位置

- ・非常用の進入口等の位置は、凡例の表示と連動する機能を用いて設定し、表記する。

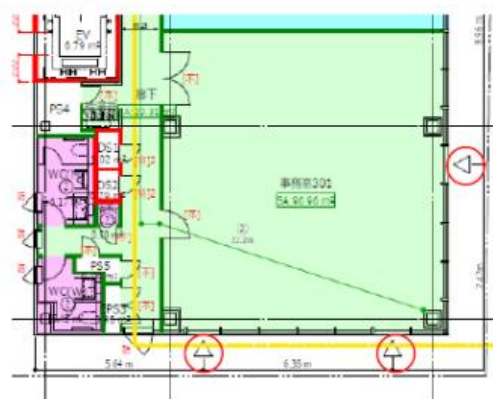
##### ②種別

- ・非常用の進入口等の種別は、凡例の表示と連動する機能を用いて設定し、表記する。

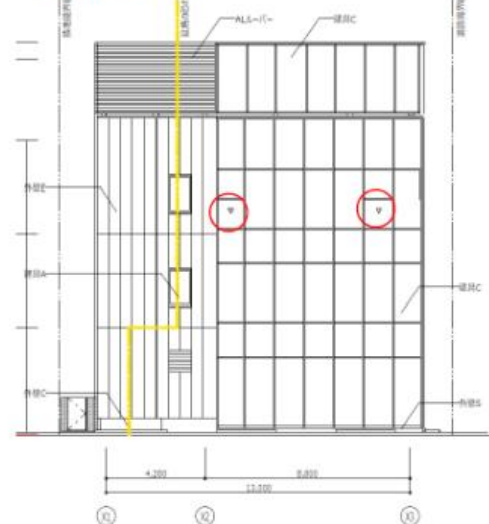
→ 平面図と立面図で位置が連動

→ オブジェクトの属性情報で種別を変更すると、凡例に合わせた表現で平面図と立面図に表示

●平面図



●立面図



Revit用参考テンプレートにて対応済み  
※解説書も付属

[https://blcj.or.jp/sample\\_form/](https://blcj.or.jp/sample_form/)

#### 凡例

7) 非常用の進入口等関係			
	凡例	色	凡例の内容
①	▲	赤	非常用進入口（有効：幅 75cm 高さ 1.2m 以上、下端 FL+80cm 以下。赤色燈及び赤色正三角形を設ける）
	▽		代替進入口（有効：幅 75cm 高さ 1.2m 以上又は 1m 以上内接円）

##### ●補足説明

・①上段は令第126条の6本文の非常用の進入口を、下段は同条第二号の代替進入口を示している。

# 確認申請への対応

サンプルモデルに対する解説資料・動画を用意

意-0017 サンプルモデル①

意-0014 サンプルモデル②

意-0013 サンプルモデル③

### サンプルモデルにおける申告書

項目	内容	確認
意-011	出入口の構造に準拠して、防煙壁の設置	○
意-012	防煙壁の構造に準拠して、防煙扉の設置	○
意-013	防煙壁による区画の面積は部屋で算出	○
意-014	防煙壁による区画の面積は部屋で算出	○

### ソフト毎の用語読み替え表

項目	読み替え前	読み替え後
意-011	防煙壁	防煙壁
意-012	防煙扉	防煙扉
意-013	防煙壁	防煙壁
意-014	防煙壁	防煙壁

### サンプルモデルにおける対応

防煙壁による区画の面積は部屋で算出

防火・防煙区画図

※標準参考用テンプレート説明書を参照

2022.1 - Revit BIM申請サンプルモデル\_01.rvt - 平面図-2階平面図-申請図

意-013 防煙壁による区画 (令第126条の2)

プロパティ

2階平面図-申請図

タイプ編集

クォンティファイ

クォンティファイ	値
ビュースタイル	1:100
フィルの値	100
モデル表示	標準
詳細レベル	標準
パーツ表示	オリジナルを表示
詳細番号	3
シートに紐結	なし
表示/クォンティファイの上書き	標準
クォンティファイ表示オプション	標準
向き	プロジェクトの北
壁結合部表示	すべての壁を結合
壁分界	標準
階層を表示	階層分界別
カーブスキームの場所	前室
カーブスキーム	A106 避難エリア
図面テーマ	標準
プロパティパネル	適用

プロジェクト: プラウダ - Revit BIM申請サンプルモデル\_01.rvt

ビュー (セクション別)

- 8. 行政協議及び申請
  - 8100-1 一般図
  - 8100-0 配置図
  - 8100-1 防火区画図
  - 平面図
    - PH階平面図-申請図
    - 1階平面図-申請図
    - 2階平面図-申請図
    - 3階平面図-申請図
    - 4階平面図-申請図
    - 5階平面図-申請図
    - 6階平面図-申請図
    - 7階平面図-申請図
    - 8階平面図-申請図
    - 9階平面図-申請図
    - 10階平面図-申請図
    - 11階平面図-申請図
    - 12階平面図-申請図
    - 13階平面図-申請図
    - 14階平面図-申請図
    - 15階平面図-申請図
    - 16階平面図-申請図
    - 17階平面図-申請図
    - 18階平面図-申請図
    - 19階平面図-申請図
    - 20階平面図-申請図
    - 21階平面図-申請図
    - 22階平面図-申請図
    - 23階平面図-申請図
    - 24階平面図-申請図
    - 25階平面図-申請図
    - 26階平面図-申請図
    - 27階平面図-申請図
    - 28階平面図-申請図
    - 29階平面図-申請図
    - 30階平面図-申請図
    - 31階平面図-申請図
    - 32階平面図-申請図
    - 33階平面図-申請図
    - 34階平面図-申請図
    - 35階平面図-申請図
    - 36階平面図-申請図
    - 37階平面図-申請図
    - 38階平面図-申請図
    - 39階平面図-申請図
    - 40階平面図-申請図
    - 41階平面図-申請図
    - 42階平面図-申請図
    - 43階平面図-申請図
    - 44階平面図-申請図
    - 45階平面図-申請図
    - 46階平面図-申請図
    - 47階平面図-申請図
    - 48階平面図-申請図
    - 49階平面図-申請図
    - 50階平面図-申請図
- 8100-2 立面図 (一般図) 申請対応
- 8100-3 断面図 (一般図) 申請対応
- 8100-4 断面図 (部分断面)

- C. 管理
- 9. 凡例
- 10. 集計表/数量 (セクション別)
- 11. シート (シート分積)
- 12. ファシリ
- 13. グループ
- 14. Revitリンク

選択 = クリック、次へ = [Tab]、追加 = [Ctrl]、選択解除 = [Shift]

防煙壁に対する区画の面積は部屋コマンドを使って入力されています。

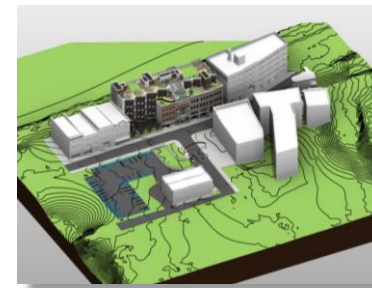
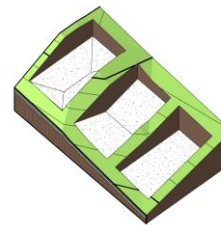
BIM Designに掲載予定

A person in a blue shirt is working on a laptop in a meeting room. The laptop screen displays a 3D architectural model of a building floor plan. Other people are visible in the background, also working on laptops. A white mug is on the table next to the laptop.

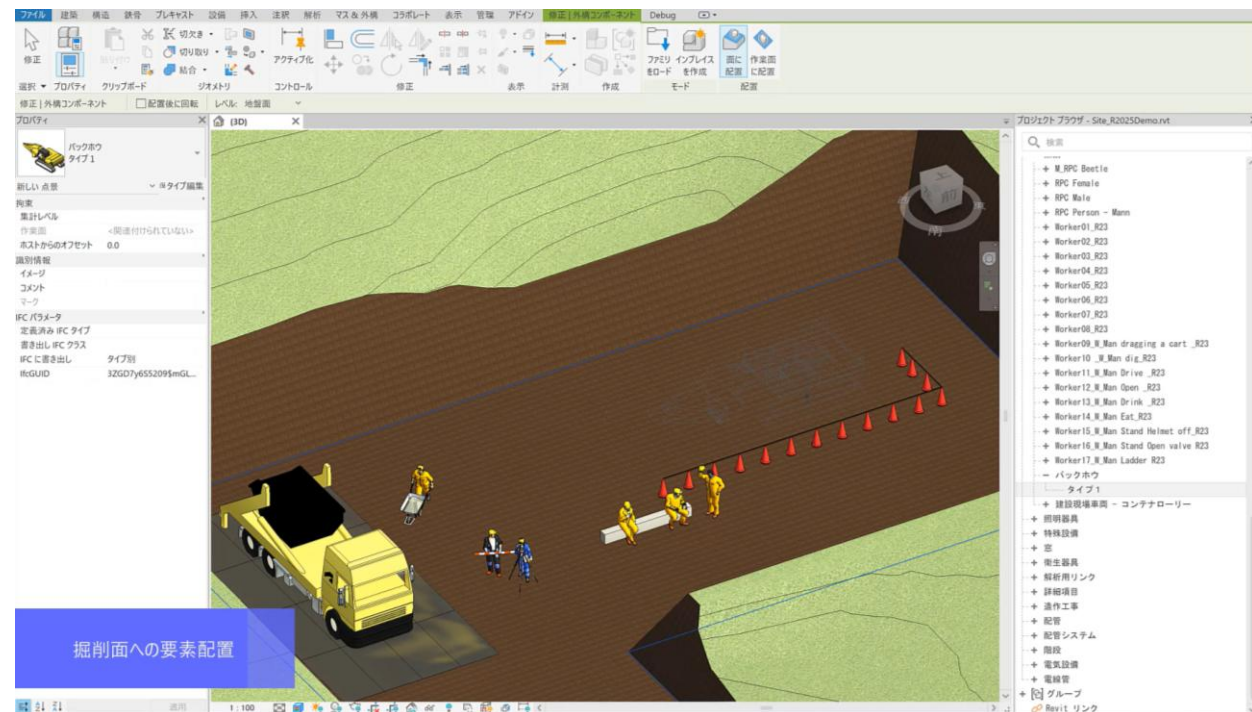
**より便利に**

# 敷地デザイン-地形ソリッド機能向上

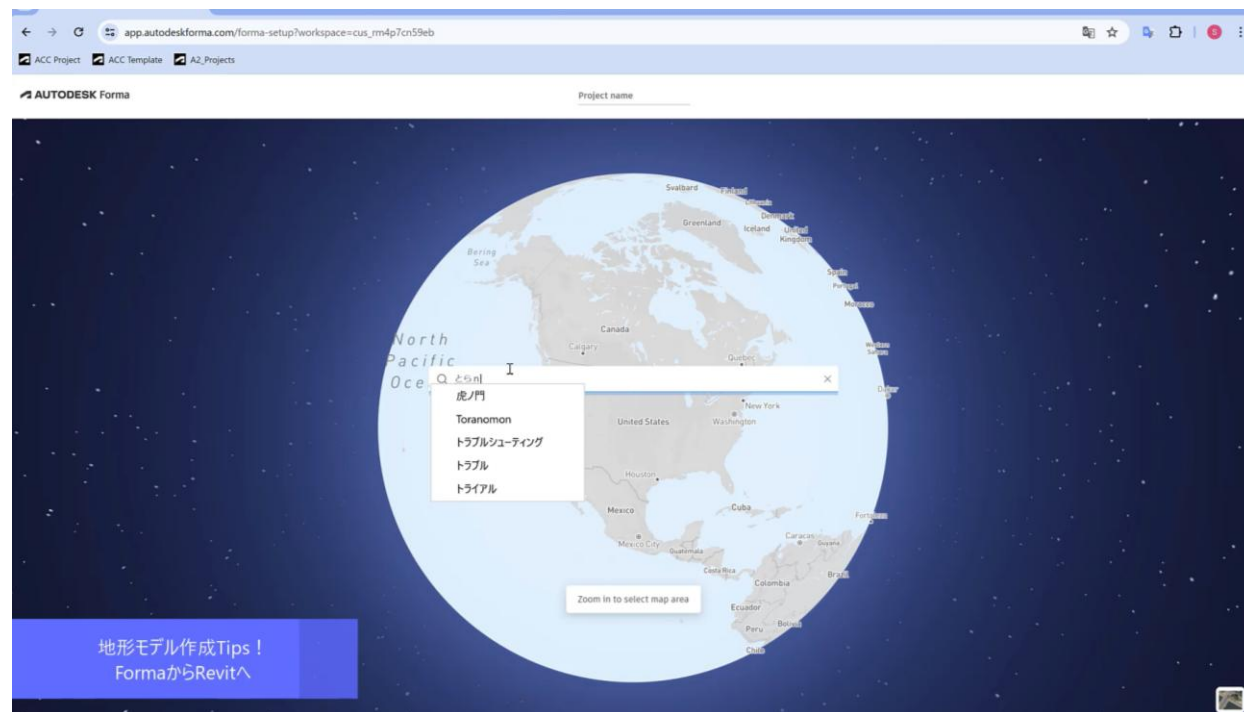
## Revit2024~2026



### 敷地デザイン・掘削計画でも活用



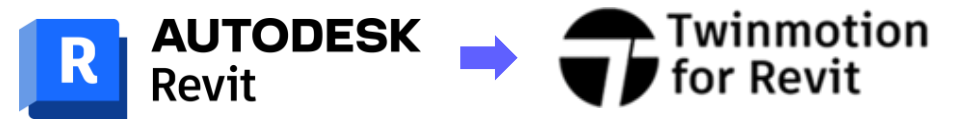
### 手軽に周辺地形をGET！



## 地形ソリッドを手軽に、敷地デザイン・工事計画が効率よく

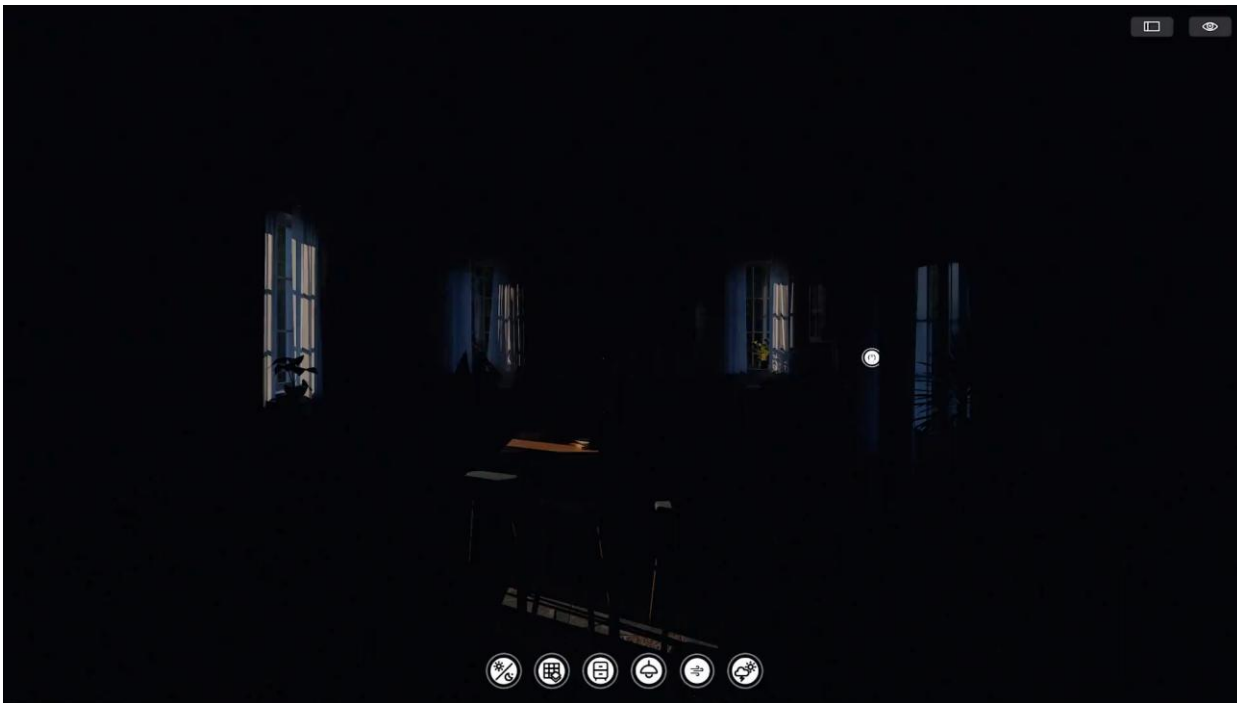
# Twinmotion for Revit 連携

Revit 2024-2026



ファミリからTwinmotionアセットへの置き換えも便利に

プレゼンテーションにも効果的に活用



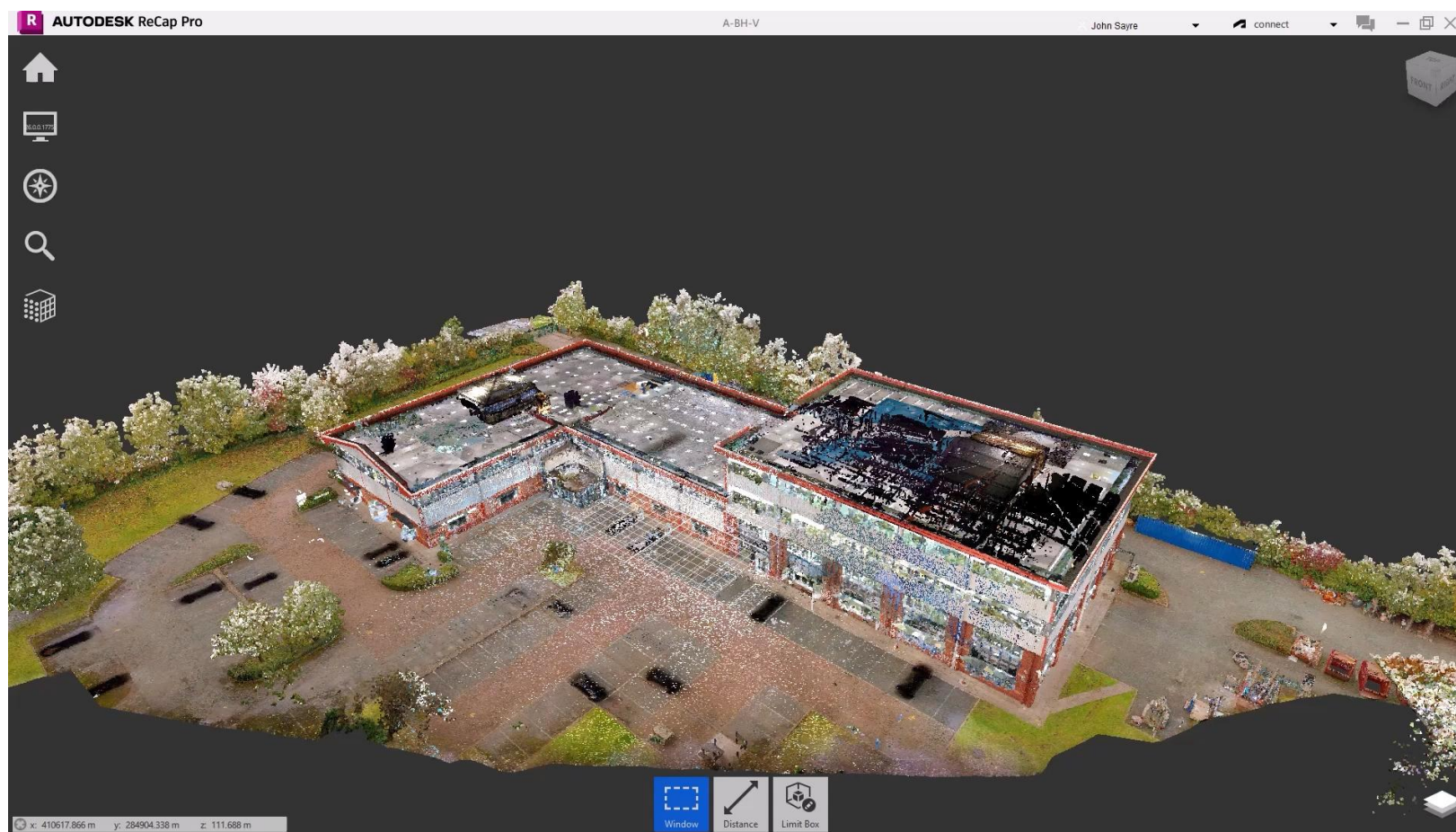
高品質なビジュアライゼーションで提案力UP

# 既存改修工事でも役立つ



Revit  
2026

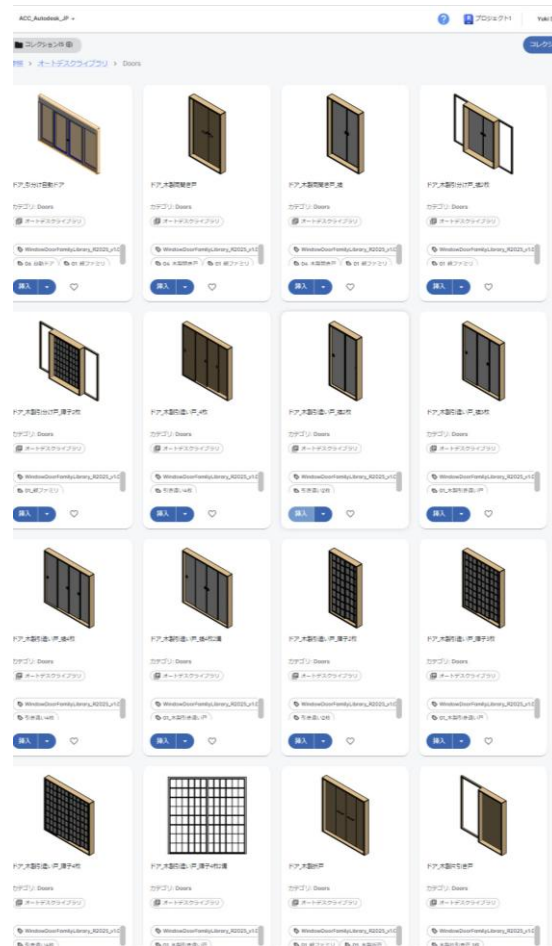
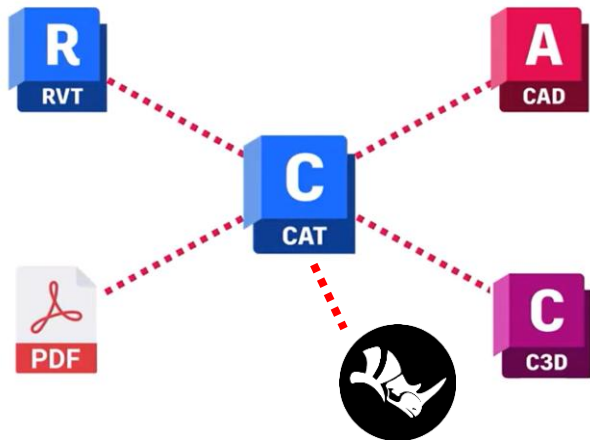
点群データをメッシュ化してRevitへ (データサイズ小さく/ファミリ化も可能)



# デジタルコンテンツの管理をスムーズに



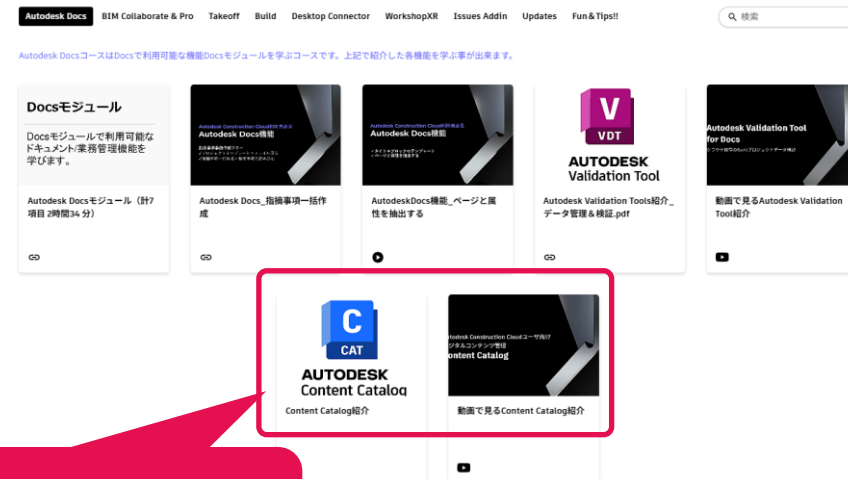
## AUTODESK Construction Cloud



[ACCセルフサービスガイド | Autodesk](#)

### 各ライセンスの機能を学ぶ

Autodesk Construction Cloudの製品シリーズ (Autodesk Docs/ BIM Collaborate Pro/Take off/Build) で利用可能な各機能モジュールを学習いただけるコースをご用意しております。(英語)



詳細はこちらを確認

# セミナー情報・過去セミナーのアーカイブ

## BIM design (建築)



The screenshot shows the Autodesk BIM design website. The top navigation bar includes 'AUTODESK BIM design 建築向け' and 'Architecture, Engineering & Construction Collection'. Below the navigation, there are tabs for 'BIM・建設DX', 'ユーザー事例', '製品紹介', 'イベント・セミナー', 'コンテンツライブラリ', 'パートナー', and 'RUG'. The main content area is titled 'イベント・セミナー' and features a section for 'これから開催するセミナー' (Upcoming Seminars) with two cards: 'Visualizer Forum for City & Buildings 2025 Summer' and 'RUG Night・オンライン配信'. Below this is a section for '過去のセミナー' (Past Seminars) with a 'もっと見る' (View More) button. A large blue box highlights the '過去のセミナー' section, which contains a grid of seminar cards. A blue arrow points from this section to the right. The text '過去セミナーのアーカイブ' (Past Seminar Archive) is overlaid on the grid.

オンラインセミナー

## 意匠設計者が語る！ Revitで変わる建築デザインプロセス

09 | 10 | 11 | 12 | 01 | 02 | 03 | 04

2026年4月

BIM確認申請がスタート！

BIMで「意匠設計」

できていますか？



伊藤 誠之氏  
代表取締役  
株式会社インテグレーション・コア



山本 敏氏  
設計部所属  
総合建設会社



朴 明浩氏  
事業建築設計本部 事業第二部門 部長  
株式会社JRR東日本建築設計



古川 智之氏  
設計本部 兼 設計推進本部 DX室 室長  
Japan Revit User Group (RUG) 副会長  
株式会社久米設計



田中 宏亮  
技術営業本部 建築・土木ソリューションエンジニア  
オートデスク株式会社

# Autodeskの無償教材

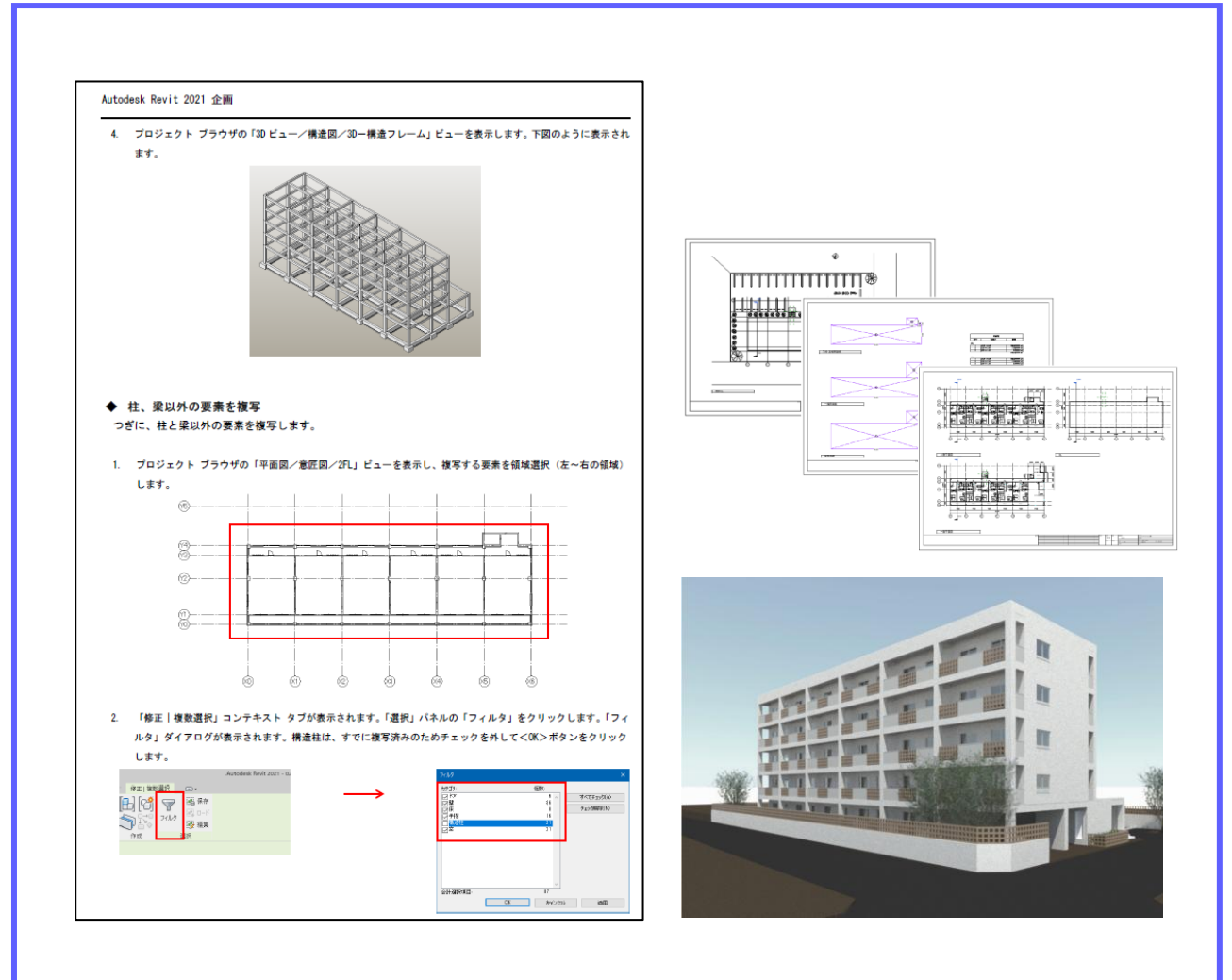
## BIM design (建築)

意匠設計・構造設計・設備/電気設計のテキスト公開

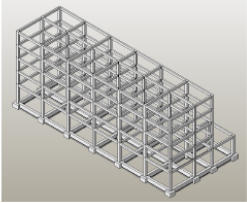
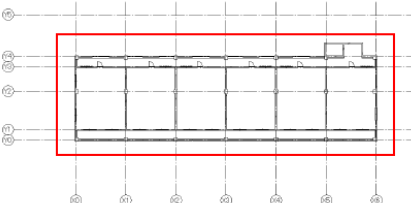
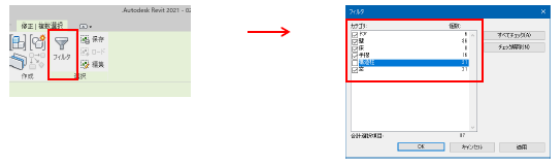


The screenshot shows the Autodesk BIM design website interface. The main navigation bar includes 'BIM design 建築向け', 'BIM・建設DX', 'ユーザー事例', '製品紹介', 'イベント・セミナー', 'コンテンツライブラリ', and 'パートナー'. The 'コンテンツライブラリ' (Content Library) section is highlighted with a blue box and contains the following items:

- 学習教材** (Learning Materials): A section with the text 'BIMをこれから始めたいと考えている方へ、導入のための便利な情報をまとめました。' (For those who want to start with BIM from now, we have compiled convenient information for introduction.) It features four cards: 'Revit 意匠設計向け 学習教材' (Revit Architectural Design Learning Material), 'Revit 木造建築設計向け 学習教材' (Revit Wood Building Design Learning Material), 'Revit 構造設計向け 学習教材' (Revit Structural Design Learning Material), and 'Revit 設備設計向け コンテンツライブラリ' (Revit MEP Design Content Library).
- 作図用素材** (Drawing Materials): A section titled 'Revit日本仕様コンテンツ' (Revit Japan Specification Content) featuring a 3D model of a building structure and the text '作図用素材' (Drawing Materials).
- BIMオープンカレッジ (動画学習)** (BIM Open College (Video Learning)): A section titled 'Revitの操作方法を動画で学べるコンテンツです。' (This content allows you to learn Revit's operation methods through videos.) It includes four video thumbnails: 'Revit 初級編' (Revit Beginner), 'Revit 中級編' (Revit Intermediate), 'Revit 上級編' (Revit Advanced), and 'Revitの使い方' (How to Use Revit).



The screenshot shows the Autodesk Revit 2021 documentation page for copying elements. The title is 'Autodesk Revit 2021 企画' (Autodesk Revit 2021 Planning). The main content is a numbered list of steps:

4. プロジェクト ブラウザの「3D ビュー/構造図/3D-構造フレーム」ビューを表示します。下図のように表示されます。  

- ◆ 柱、梁以外の要素を複写  
つぎに、柱と梁以外の要素を複写します。
  1. プロジェクト ブラウザの「平面図/意匠図/2FL」ビューを表示し、複写する要素を領域選択 (左～右の領域) します。  

  2. 「修正 | 複数選択」コンテキスト タブが表示されます。「選択」パネルの「フィルタ」をクリックします。「フィルタ」ダイアログが表示されます。構造柱は、すでに複写済みのためチェックを外して<OK> ボタンをクリックします。  


On the right side of the page, there are several architectural drawings, including a 3D rendering of a modern building with a white facade and a balcony.

# 施工BIMスタートアップガイド



## 施工分野でもBIMモデリング

**施工 BIM スタートアップガイド**

Autodesk Training Text  
AUTODESK

第三者へのトレーニングやセミナー等実施のための、このドキュメントや関連データを無断で複写、配布、転載は禁止されています。

The screenshot displays the Autodesk Revit software interface. The top ribbon shows the 'Modify | Structure Frame' (修正 | 構造フレーム) tab. The main workspace is divided into three views: a 2D floor plan view on the left, a 3D perspective view of the foundation on the right, and a project browser on the far right. The project browser shows a hierarchy of views including '1FL\_基礎伏図' (1FL Foundation Plan) and '1FL\_基礎伏図\_作業' (1FL Foundation Plan - Work). The 3D view shows a grid of columns and beams with a concrete slab on top. The 2D view shows a detailed floor plan with grid lines and dimensions. The project browser on the right lists various views and categories, including '1FL\_基礎伏図' and '1FL\_基礎伏図\_作業'.

# 建築設備施工図

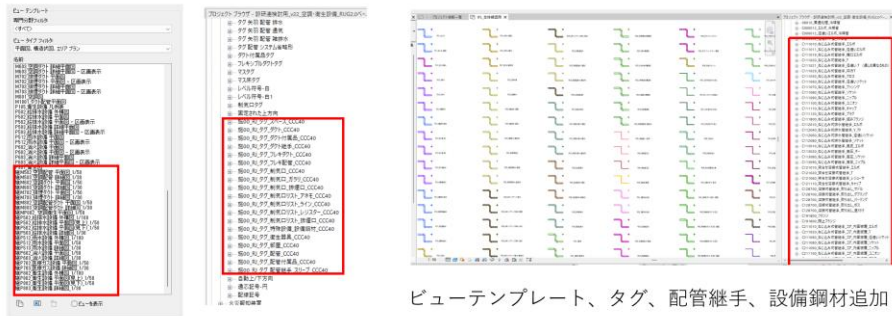
## 設備施工図でもBIMモデリングのコンテンツがリリース

### 設備ファミリ整備TF

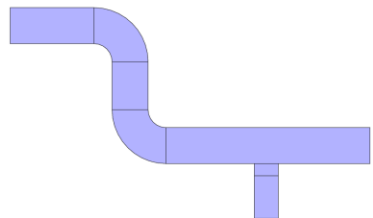
#### ■ 施工向けファミリ、テンプレートの検討

施工用テンプレートの内容検討

- 設備施工向けに必要な内容からテンプレートの設定内容を検討

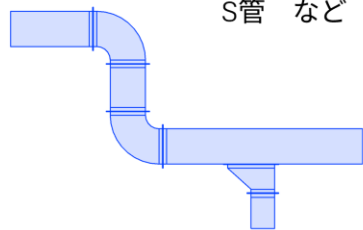


施工向けに整理



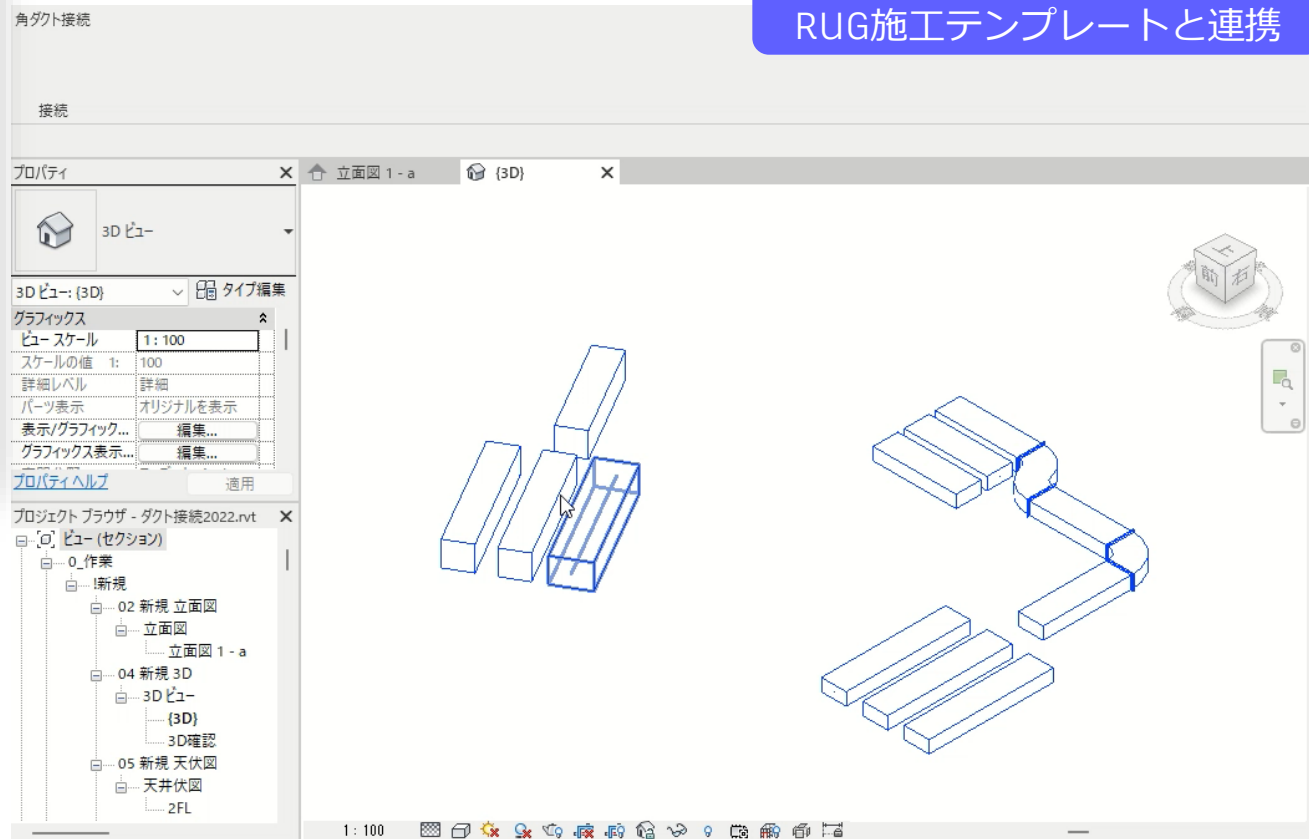
RUGテンプレート（設計用）

内R指定エルボ  
異径エルボ  
S管 など



施工向けRUGテンプレート

簡易接続ツール  
RUG施工テンプレートと連携



## BIM

- BIMによる確認申請
- BIMがより使いやすく！
- 施工BIM（建築/設備）

## 共通データ環境（CDE）

- 設計・施工での活用
- オーナーでの活用

## データ活用

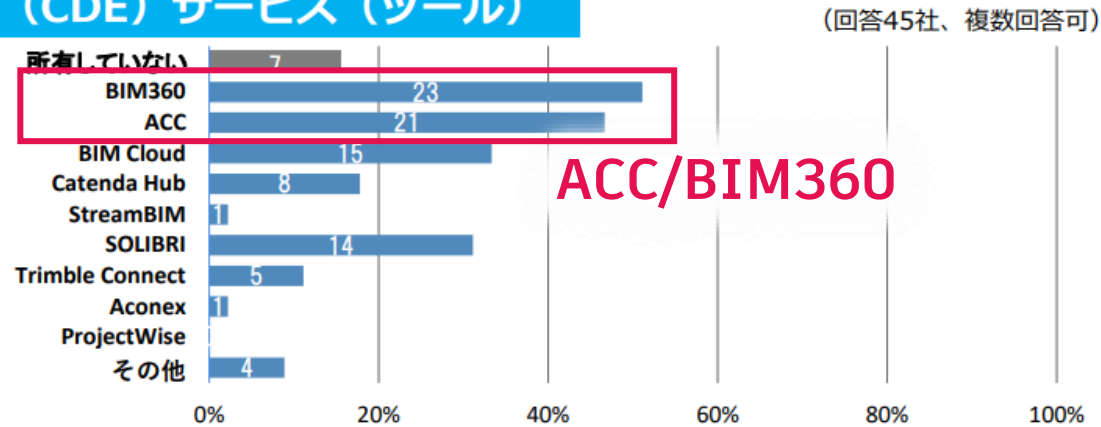
- BIM/CDEのデータ活用
- BIMと連携したソリューション

# 共通データ環境（CDE）の活用状況

## 3. BIM推進の整備状況 ⑧ 共通データ環境

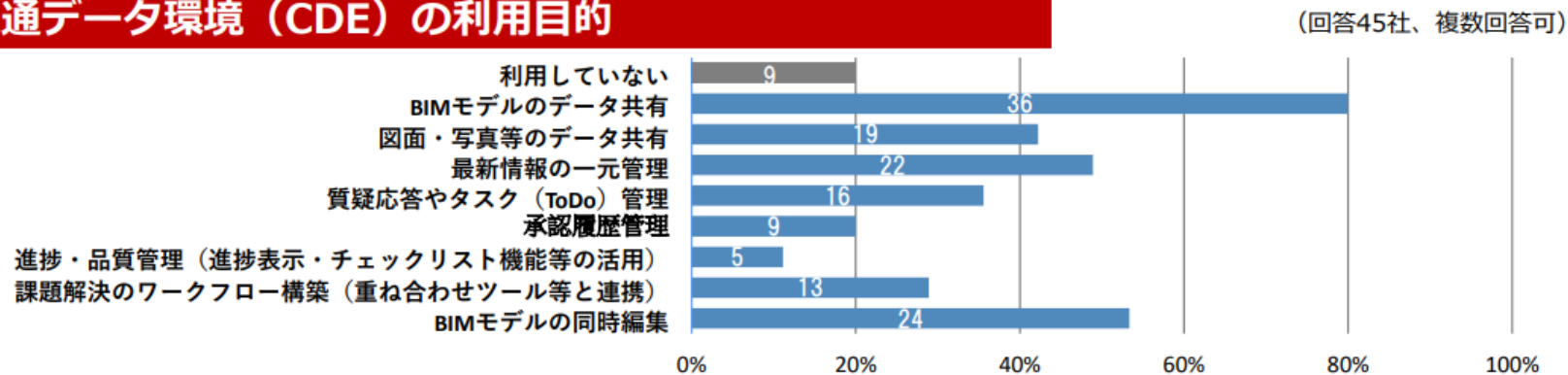
■ 主な利用目的はBIMモデルのデータ共有・同時編集、最新情報の一元管理

### 利用している共通データ環境（CDE）サービス（ツール）



ACC/BIM360

### 共通データ環境（CDE）の利用目的



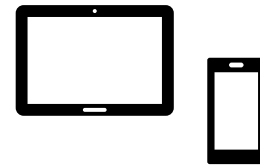
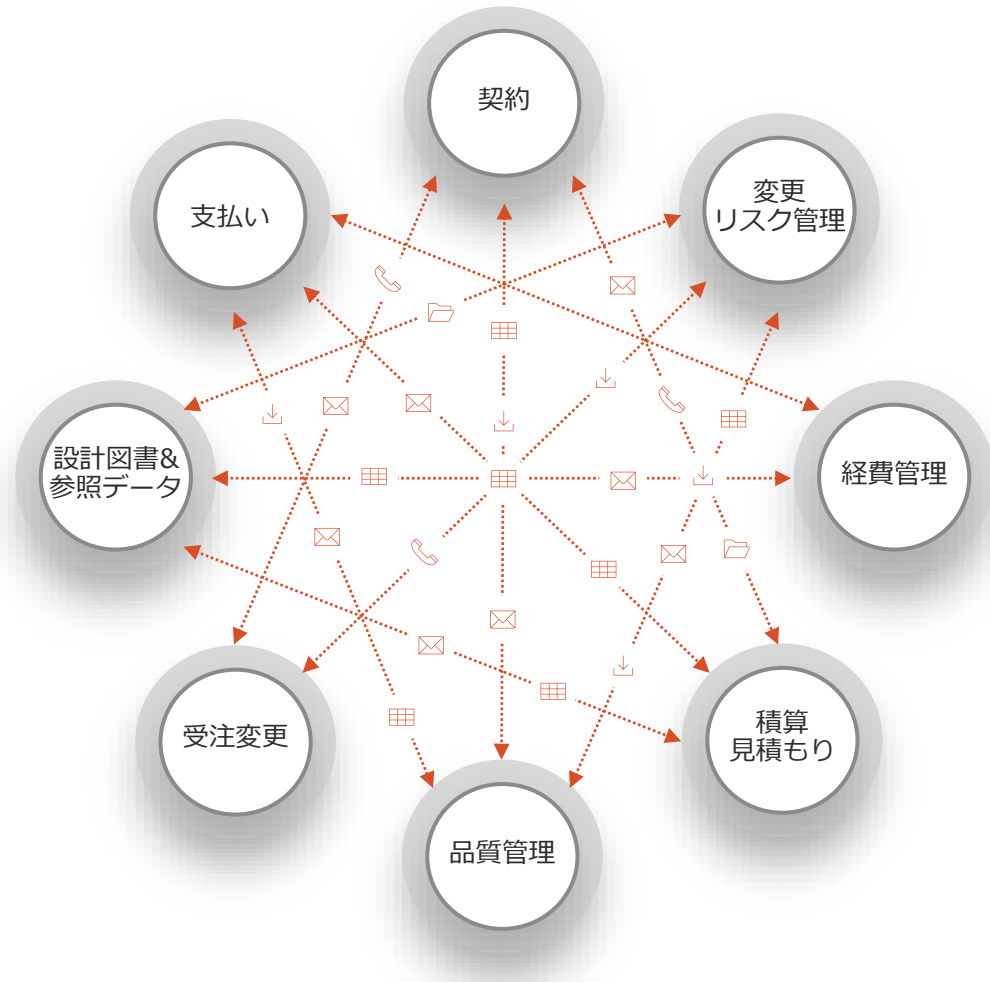
・ CDEツールはBIM360とACCの使用率が高い。

# コラボレーション

A group of five construction professionals, including men and women, are seated around a white table in a meeting room. They are wearing high-visibility yellow safety vests over their work clothes. They are looking at a large digital display on the wall that shows a detailed architectural floor plan. The room has a blue wall with various notices and documents pinned to it. There are also some hard hats and a water bottle on the table. The overall atmosphere is one of professional collaboration and teamwork.

# プラットフォームの重要性

プラットフォームを構築する上で、基幹システムなどと連携し、エコシステムへの拡張も可能になる。



現場の進捗や記録にフォーカスする、  
工事管理ソフトの乱立

- 写真管理
- 図面管理
- リスク・品質管理

現場



Excelベースの管理方式

- プロジェクト進捗管理
- 積算
- 予実管理
- 文書管理
- 図面管理
- ...



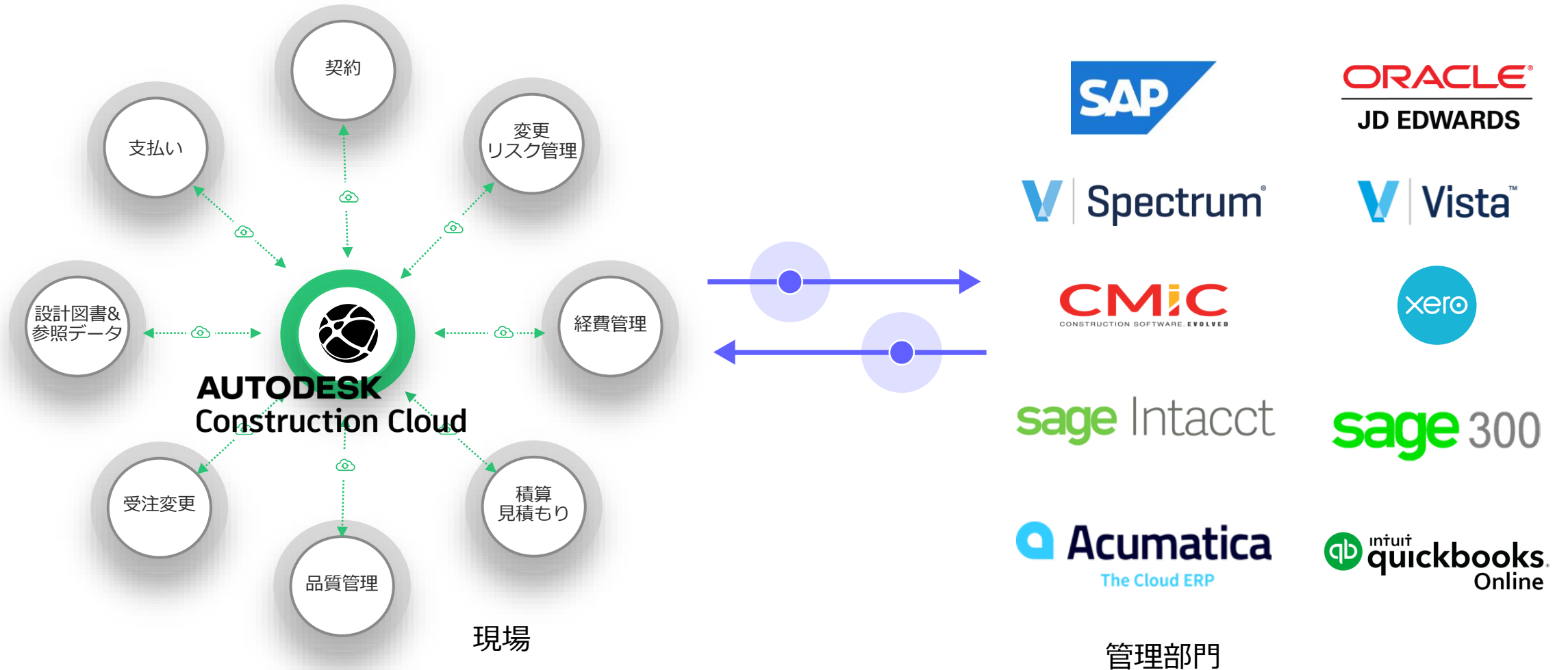
ほぼ手入力の基幹会計システム

- 写真管理
- 図面管理
- リスク・品質管理

管理  
部門

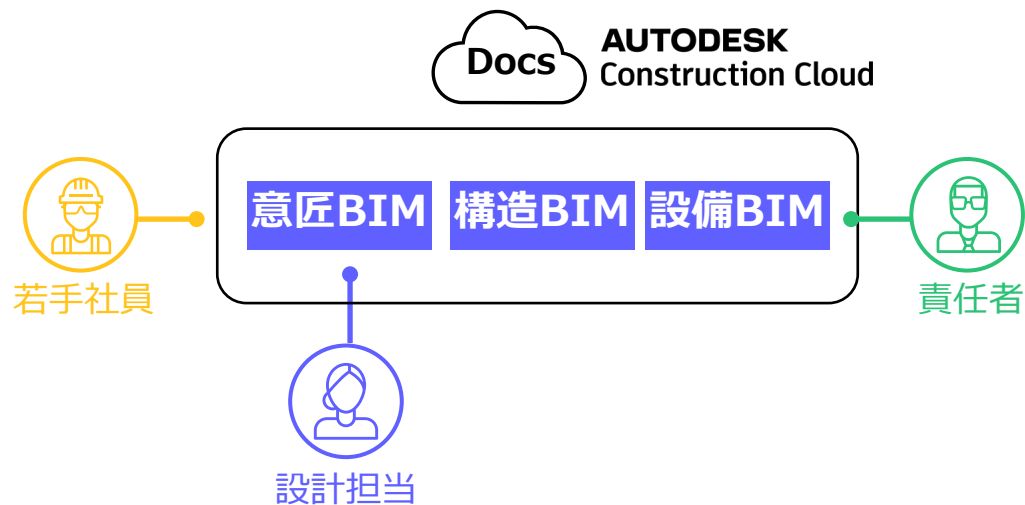
# プラットフォームによる連携

建築業務のデータはプラットフォームに集め、本社管理機能を担うERPシステムとのシネクにより、プロセスの整合・最新情報のシームレスな連携が可能になり、迅速・且つ正確な経営判断にもつながる。



# 設計での活用例

- 意匠/構造/設備を統合できる共通データ環境
- Revitのビューワ機能（ブラウザ上で稼働）
- 図面やモデルに対する指摘・承認フロー
- 設計と施工をつなぐ**容量無制限のクラウドストレージ**  
クラウド環境

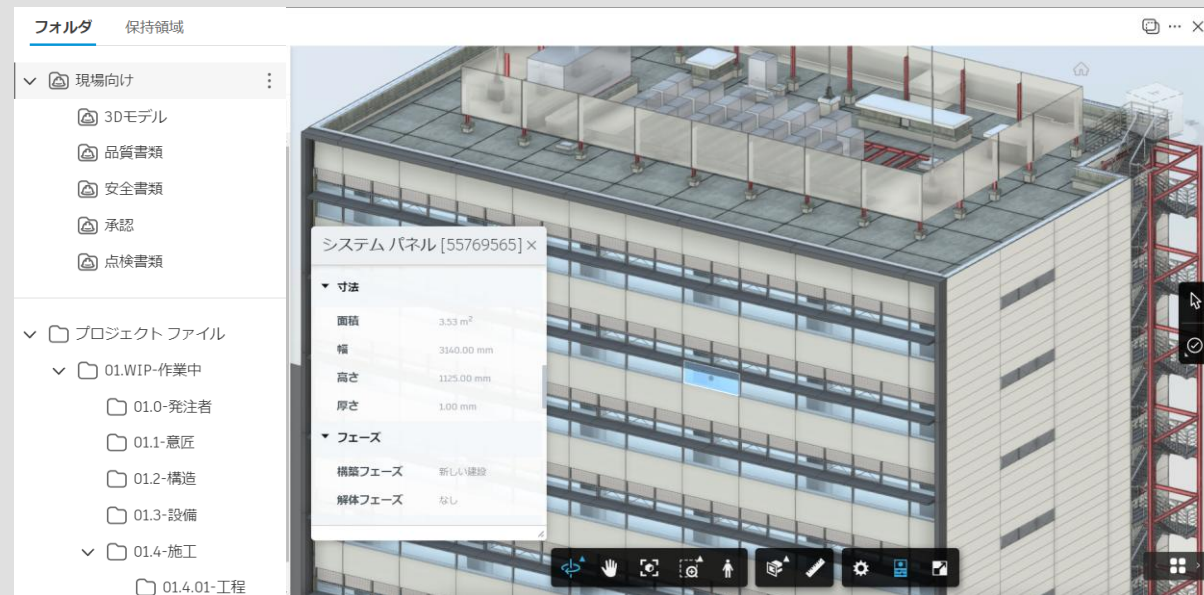


データの保管場所をDocs上に**一元化**  
会社全体の**業務基盤**として運用

▼ 構造化されたデータ

データ分析

社内ノウハウ蓄積  
人材育成・品質向上



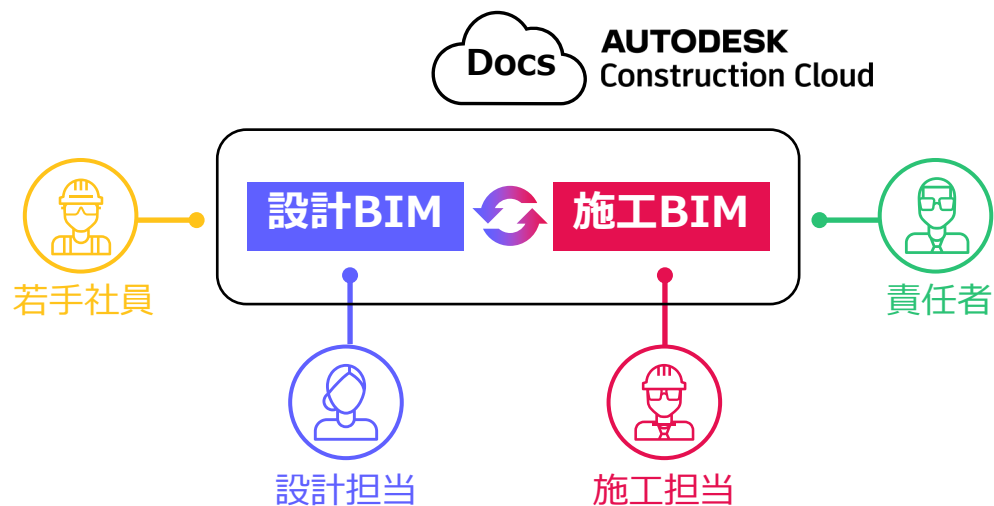
ブラウザ上でRevitデータの閲覧が可能



ブラウザ上で図面レビュー（指摘～承認）が可能

# 設計-施工での活用例

- 意匠/構造/設備を統合できる共通データ環境
- Revitのビューワ機能（ブラウザ上で稼働）
- 図面やモデルに対する指摘・承認フロー
- 設計と施工をつなぐ**容量無制限のクラウドストレージ**  
クラウド環境



データの保管場所をDocs上に**一元化**  
会社全体の**業務基盤**として運用

▼ 構造化されたデータ

データ分析

社内ノウハウ蓄積  
人材育成・品質向上



ブラウザ上でRevitデータの閲覧が可能



ブラウザ上で図面レビュー（指摘～承認）が可能

# クラウドを活用した図面レビュー

Autodesk Construction Cloud (ACC) を活用した  
コミュニケーションによりレビュー稼働を削減

## 東洋建設株式会社

### ● 実施概要

- デザインレビュー・監理者検査でのACC活用
- **ブラウザで図面を開き、図面上に指摘事項を入力  
→ 自動でリスト化**（エクセルへの転記不要）
- **帳票入力を削減**し、レポートを自動作成
- 現場巡回中に作成した指摘データをリアルタイムに処理することで、**指摘事項の取りまとめ時間を約 50 %削減**  
※ACC および Autodesk Build の活用前との比較



指摘事項

削除された指摘事項 設定

+ 指摘事項を作成

すべて書き出す

指摘事項の件名または ID ...

件名	ID	ステータス	タイプ	担当者	期日	配置先
S1端支点部	#12	未完了	Design	Junki Nakasuka	2025年1月28日	9.pdf
S1端支点部	#11	未完了	Design	Junki Nakasuka	2025年1月24日	9.pdf
スリット	#10	未完了	Design	Junki Nakasuka	2025年1月20日	9.pdf
側板取付詳細図	#9	未完了	Design	Junki Nakasuka	2025年1月24日	9.pdf
床版断面	#8	未完了	Design	Junki Nakasuka	2025年1月22日	9.pdf

# ディベロッパーACCでの活用

## 発注者による共通データ環境の活用



オートデスク ニュース オートデスク

ニュース ストーリー プロダクト

ニュース

### 阪急阪神不動産が Autodesk Construction Cloud® を採用

Autodesk Japan Communications 2月 19, 2025

◀ | + Save

米国 Autodesk 社（本社：米国カリフォルニア州／プレジデント兼 CEO：アンドリュー・アナグノスト、以下、Autodesk）は、阪急阪神不動産株式会社（本社：大阪府大阪市／代表取締役社長：福井康樹、以下、阪急阪神不動産）が Autodesk Construction Cloud®（以下、ACC）を採用したことを発表します。

総合不動産デベロッパーである阪急阪神不動産のマンション事業部門では、発注者の立場としてACCを採用しました。同社は、建設 DX の推進に向けて BIM（Building Information Modeling）の将来性を感じており、活用法を模索する中で、ACCを導入するに至りました。ACC の高度な BIM 機能は、建物のライフサイクル全体を通じてデータの一元管理を可能にし、維持管理業務の効率化と品質向上に寄与します。さらに、ACC は同社の発注先となるゼネコンやサブコンとの建設プロジェクトにおける円滑なコミュニケーションの実現にも活用可能です。

ACC は、設計から施工、引き渡しまでのすべてのプロジェクトフェーズにおいて統合されたプラットフォームを提供し、プロジェクトの透明性と効率性を向上させます。これにより、同社は発注者としての役割を強化し、協力会社とのプロジェクト遂行を一層スムーズに行うことが期待されます。

#### 阪急阪神不動産が ACC 導入に期待する効果

- プロジェクトの透明性と効率性の向上
- 発注者としての役割の強化
- ゼネコンやサブコンとの円滑なコミュニケーションの実現
- 維持管理業務の効率化と品質向上
- 建物のライフサイクル全体にわたるデータの一元管理

阪急阪神不動産株式会社 住宅事業本部 マンション事業部 品質管理グループ 課長補佐 森岡 丈晴氏は次のように述べています。

# Autodesk Construction Cloud コンテンツ

## BIM design (建築)



製品紹介



- Autodesk Docs で共同作業とデータ管理を単純化。
- AutodeskR Docs で、ファイルを整理、配布、共有できます。
- ・エラーと手戻りを削減
- ・合理化されたレビューと承認のワークフローで時間を節約
- ・チームの連携とプロジェクト スケジュール管理を改善

[より詳しい製品情報はこちら](#)

### 過去のセミナー

[もっと見る](#)

**過去セミナーアーカイブ**

- Autodesk Docs 新機能・機能向上ご紹介 オンラインセミナー 第4回: Civil 3D, Dynamo, Docs (土木関連) 2025年5月29日(木)
- BIMプロジェクトでなくても活用すべき! Autodesk Construction Cloudによる品質管理 2025年4月16日(水) 13:00
- RevitとACCで設備モデルデータ活用-実践編 (全編) 2025年3月27日(木)
- RevitとACCで設備モデルデータ活用-実践編 (全編) 2025年3月27日(木)

### 関連アイテム

**Autodesk Construction Cloud セルフサービスガイド**

Autodesk Construction Cloud Learning Center をご利用いただくために、特にご活用いただきたい学習項目を優先的に日本語解説付きでご紹介します。

このガイドページでは、オートデスクが提供する英語サイト Autodesk Construction Cloud Learning Center をご利用いただくために、特にご活用いただきたい学習項目を優先的に日本語解説付きでご紹介しております。また、日本語解説付きの学習項目は、是非社内のACC専入にお役立てください。

[ACCラーニングセンター概要](#) [日本語設定ガイド](#)



## ACC Portal Japan

@ACCPortalJapan · チャンネル登録者数 4人 · 80 本の動画

[このチャンネルの詳細 ... さらに表示](#)

[チャンネル登録](#)

[ホーム](#) [動画](#) [再生リスト](#) [🔍](#)

新しい順 人気の動画 古い順

**ACCの活用が、より具体的に掲載されているコンテンツを準備**

スケジュール - 04. 計画 サブタスク作成方法 0 回視聴 · 2 日前

アセット - 02. 設定 0 回視聴 · 2 日前

アセット - 09. モバイルアプリ 0 回視聴 · 2 日前

アセット - 05. 新規項目作成 2 回視聴 · 2 日前

**ACCコンテンツの専用サイトも準備予定**

# ACC Learning Center Japan on YouTube



## **AUTODESK Docs**

[Autodesk Docs トレーニングコース - ファイル](#)



[Autodesk Docs トレーニングコース - レビュー](#)



[Autodesk Docs トレーニングコース - 指摘事項](#)



 **AUTODESK**  
Construction Cloud

[ACC ユースケース](#)



## **AUTODESK Build**

[Autodesk Build トレーニングコース - ホーム](#)



[Autodesk Build トレーニングコース - シート](#)



[Autodesk Build トレーニングコース - 情報提供依頼](#)



[Autodesk Build トレーニングコース - 提出物](#)



[Autodesk Build トレーニングコース - スケジュール](#)



[Autodesk Build トレーニングコース - ミーティング](#)



[Autodesk Build トレーニングコース - アセット](#)



## BIM

- BIMによる確認申請
- BIMがより使いやすく！
- 施工BIM（建築/設備）

## 共通データ環境（CDE）

- 設計・施工での活用
- オーナーでの活用

## データ活用

- BIM/CDEのデータ活用
- BIMと連携したソリューション

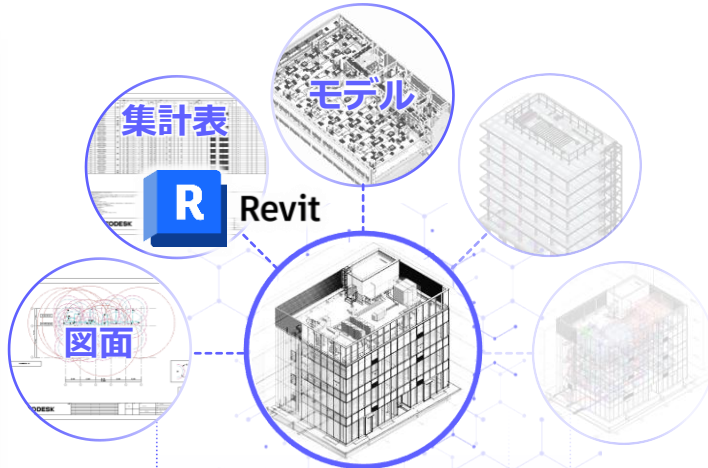
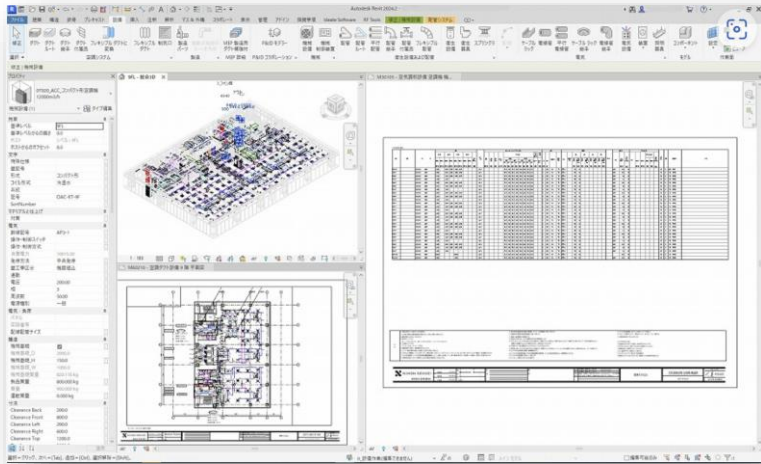
# データ活用

A person stands on a rooftop, looking out over a dense urban landscape. The scene is overlaid with a complex, semi-transparent digital network of white lines and nodes, representing data connectivity. The network consists of numerous interconnected points and lines, some of which are highlighted with a glowing effect. The background shows a variety of modern buildings, including several tall skyscrapers and lower-rise structures, under a clear blue sky. The overall aesthetic is futuristic and technological.

# BIMとデータプラットフォームの重要性

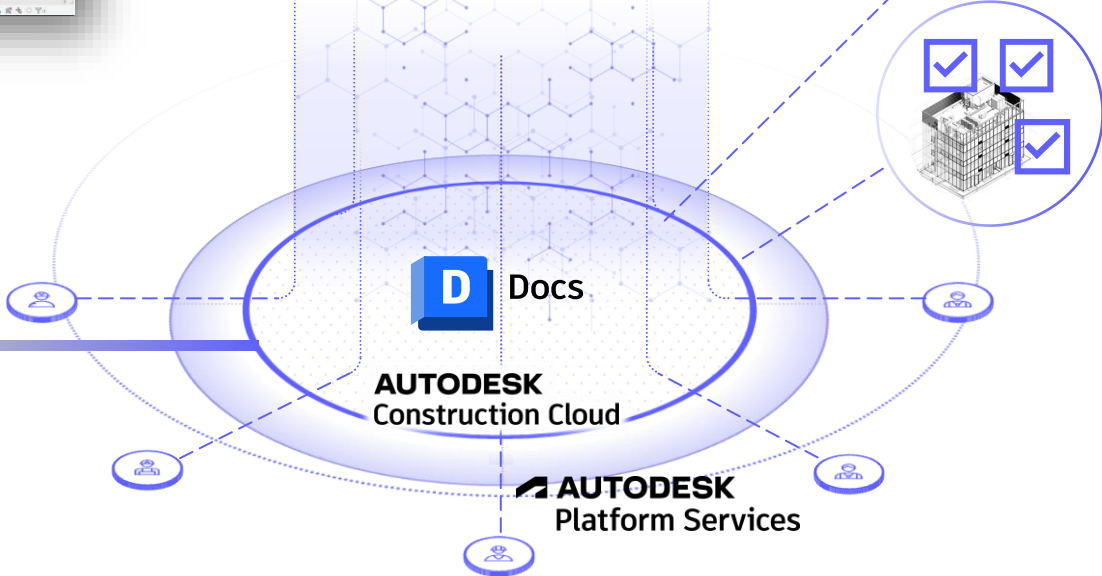
## Revit+ACCによるデータ活用

データ連携



A collage of three Autodesk software interfaces. At the top is 'AUTODESK Forma' showing a 3D city model. In the middle is 'AUTODESK Workshop XR' showing a virtual reality environment with people interacting with a 3D model. On the right is 'AUTODESK Tandem' showing a detailed 3D architectural rendering of a building.

A Power BI dashboard titled 'ステータス管理' (Status Management). It features three main sections: 'WORKSETS' with a bar chart, 'PERFORMANCE STATS' with a gauge showing '936' and '101', and 'FAMILY SIZE BREAKDOWN' with a donut chart showing '661'. Below these are '13 LARGEST FABRIERS' and '555'.

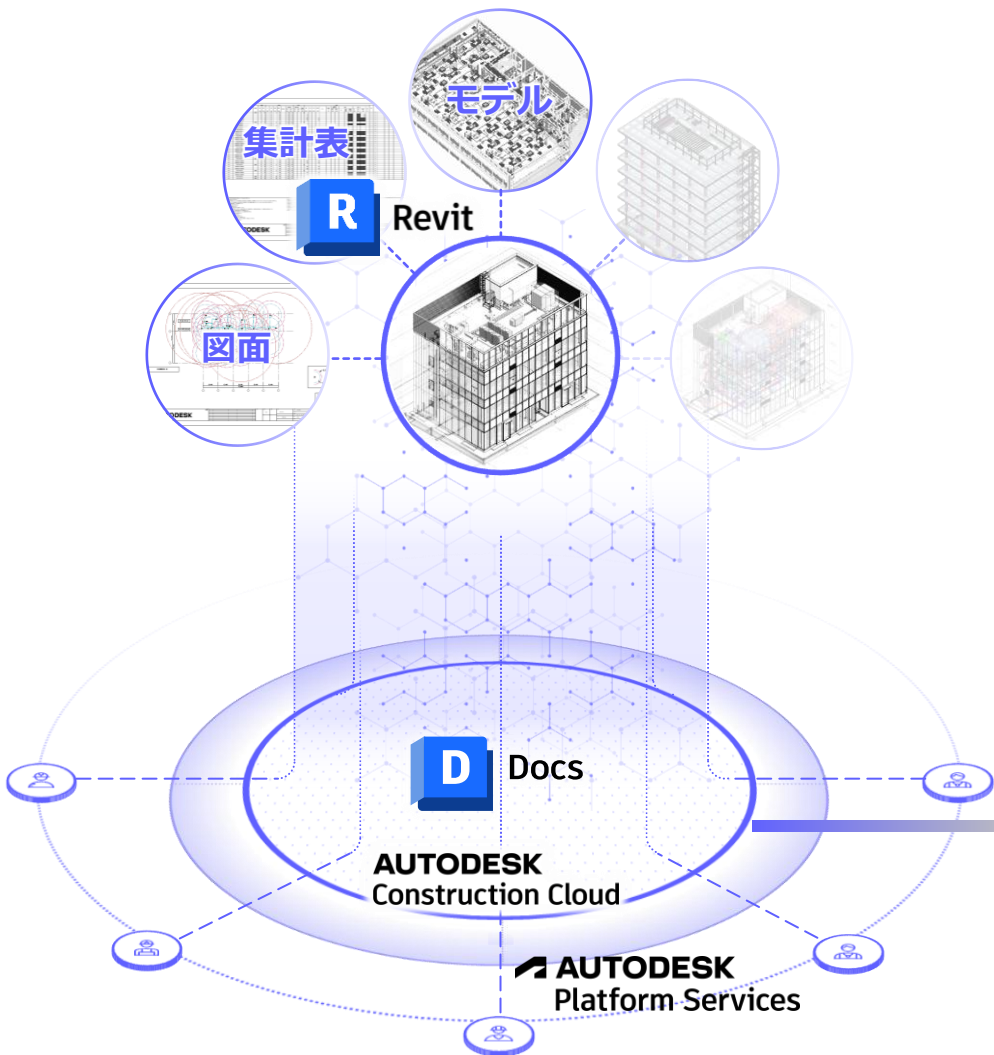


## CDEでのコミュニケーション

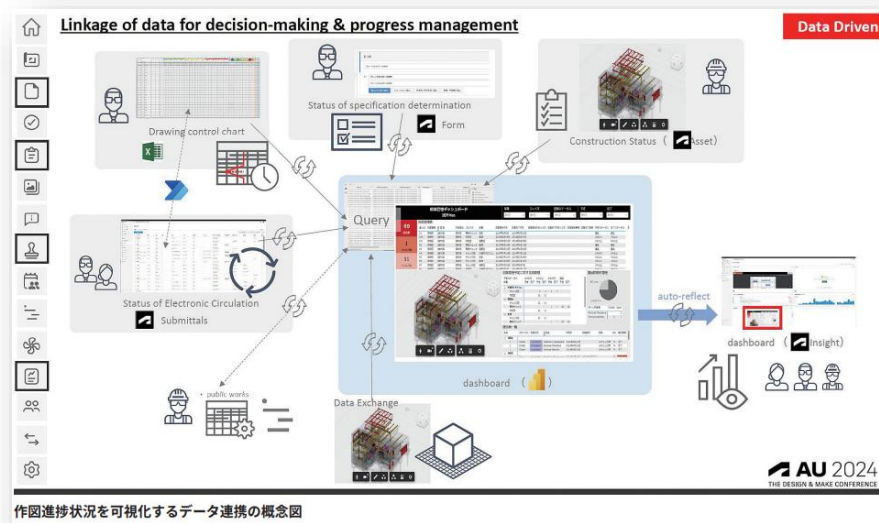
A screenshot of a CDE (Common Data Environment) interface. It shows a 3D architectural model of a building interior. Below the model, there are communication tools including a chat window, a list of items, and a 'レビュー' (Review) section with a 'レビューを依頼' (Request Review) button.

# 竹中工務店：ACCダッシュボード

CDEを整えて人が動かす竹中工務店のデータドリブンなBIM実装戦略 | ユーザ事例 |



「(仮称)東京海上ビルディング計画」におけるフォルダ構成や命名設定などの運用ルール決めの打合せ風景(提供: 竹中工務店)



作図進捗状況を可視化するデータ連携の概念図

### ACC指摘事項 図面変更連絡の管理

課題 図面変更の連絡が個々のやり取りで行われており、進捗が追えない

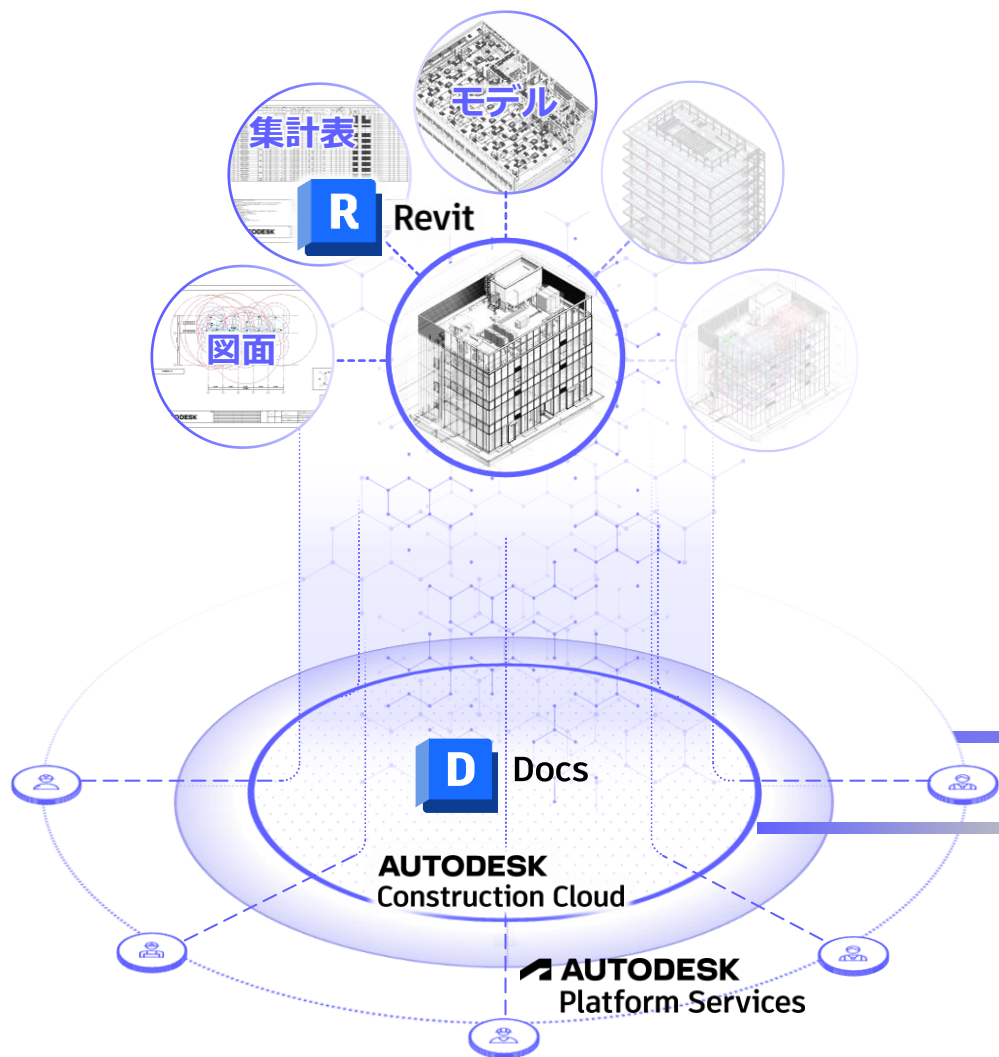
ダッシュボード化で解決! 指摘事項として変更点を入力し、進捗状況や担当者毎のタスク数が把握できる

指摘事項	進捗状況	期日超過の指摘事項																																																							
<p>指摘事項</p> <p>施工図変更連絡</p> <p>※毎朝6時に更新されます</p> <p>指摘事項ページへ</p> <p>フィルタ</p> <p>件名</p> <p>すべて</p> <p>ステータス</p> <p>すべて</p> <p>タイプ</p> <p>すべて</p> <p>作成者</p> <p>すべて</p> <p>担当者</p> <p>すべて</p>	<p>進捗状況</p> <p>0%</p> <p>10%</p> <p>● 未完了</p> <p>● 終了</p> <p>● 完了</p> <p>● 実行中</p> <p>担当者別 指摘事項数</p> <p>0 5 10</p>	<p>期日超過の指摘事項</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>ID</th> <th>件名</th> <th>担当者</th> <th>期日</th> <th>URL</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1995</td><td>建具納まりに伴う取組追加</td><td></td><td>07/31</td><td></td></tr> <tr><td>2066</td><td>ハト小屋屋根変更</td><td></td><td>08/28</td><td></td></tr> <tr><td>2051</td><td>下がり壁?</td><td></td><td>08/29</td><td></td></tr> <tr><td>2052</td><td>露出</td><td></td><td>08/29</td><td></td></tr> <tr><td>2053</td><td>デフォルト表示について</td><td></td><td>08/29</td><td></td></tr> <tr><td>2050</td><td>施工図-施工図確認</td><td></td><td>09/04</td><td></td></tr> <tr><td>2064</td><td>キョーソネットワーク基礎変更</td><td></td><td>09/06</td><td></td></tr> <tr><td>2065</td><td>新築部立上り扉フック</td><td></td><td>09/06</td><td></td></tr> <tr><td>2067</td><td>ハト小屋屋根変更</td><td></td><td>09/09</td><td></td></tr> <tr><td>2063</td><td>です。試して弄ってみ</td><td></td><td>09/12</td><td></td></tr> </tbody> </table> <p>施工図変更内容</p> <p>SFL ハト小屋屋根高さ及び出幅変更</p> <p>根本原因</p> <p>施工図</p> <p>場所</p> <p>ハト小屋</p>	ID	件名	担当者	期日	URL	1995	建具納まりに伴う取組追加		07/31		2066	ハト小屋屋根変更		08/28		2051	下がり壁?		08/29		2052	露出		08/29		2053	デフォルト表示について		08/29		2050	施工図-施工図確認		09/04		2064	キョーソネットワーク基礎変更		09/06		2065	新築部立上り扉フック		09/06		2067	ハト小屋屋根変更		09/09		2063	です。試して弄ってみ		09/12	
ID	件名	担当者	期日	URL																																																					
1995	建具納まりに伴う取組追加		07/31																																																						
2066	ハト小屋屋根変更		08/28																																																						
2051	下がり壁?		08/29																																																						
2052	露出		08/29																																																						
2053	デフォルト表示について		08/29																																																						
2050	施工図-施工図確認		09/04																																																						
2064	キョーソネットワーク基礎変更		09/06																																																						
2065	新築部立上り扉フック		09/06																																																						
2067	ハト小屋屋根変更		09/09																																																						
2063	です。試して弄ってみ		09/12																																																						

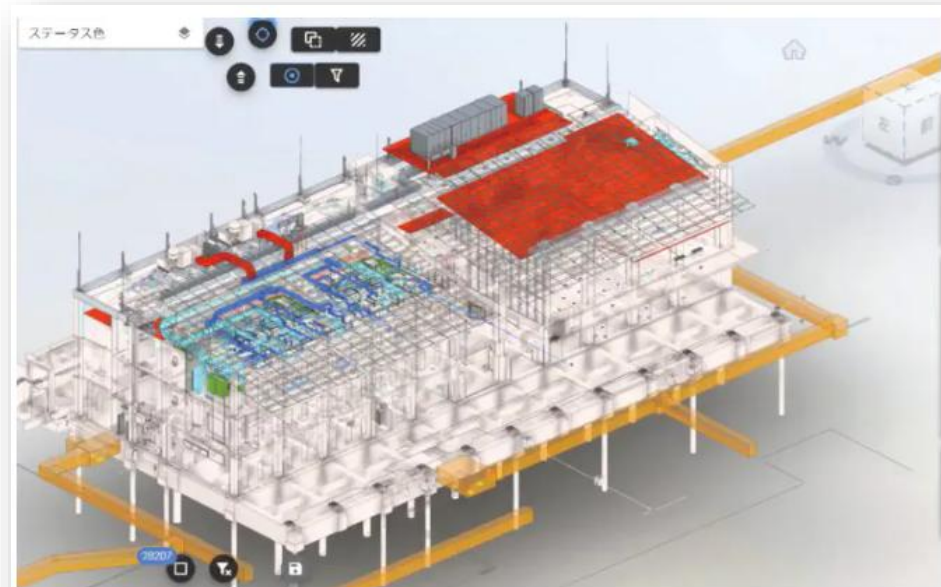
ACCでの指摘事項のタスク進捗をダッシュボードで可視化(提供: 竹中工務店)

# 新菱冷熱工業：現場ステータス管理

デジタルと技術を密接に融合 BIM 軸に施工プロセス変革 - 新菱冷熱工業株式会社 | ユーザ事例 |



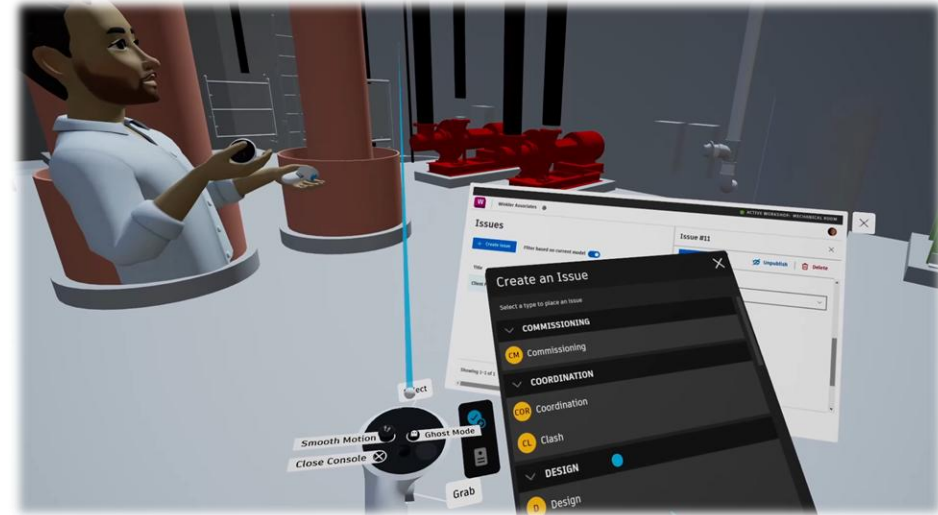
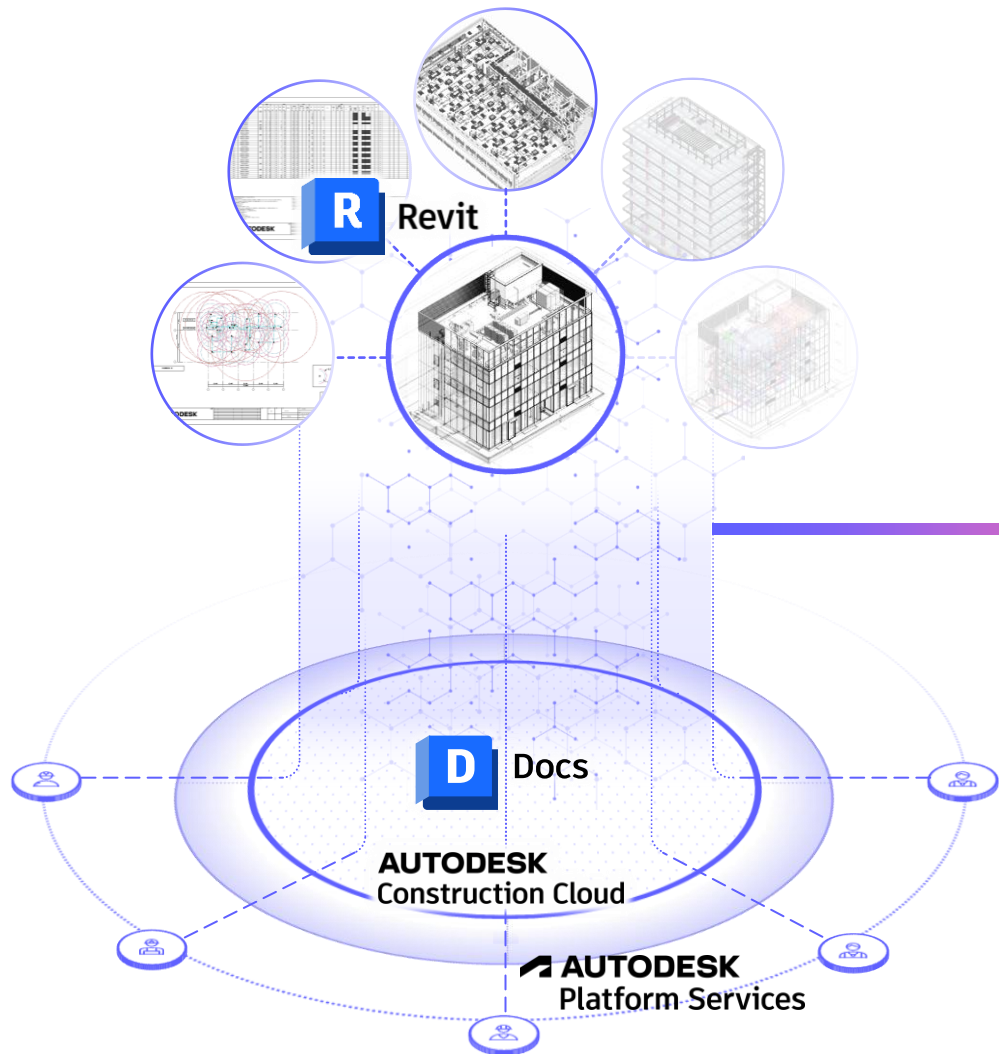
左から順に、建設部長、建設課長、建設課長、建設課長、建設課長、建設課長、建設課長



BIM ツールでステータスの可視化と分析

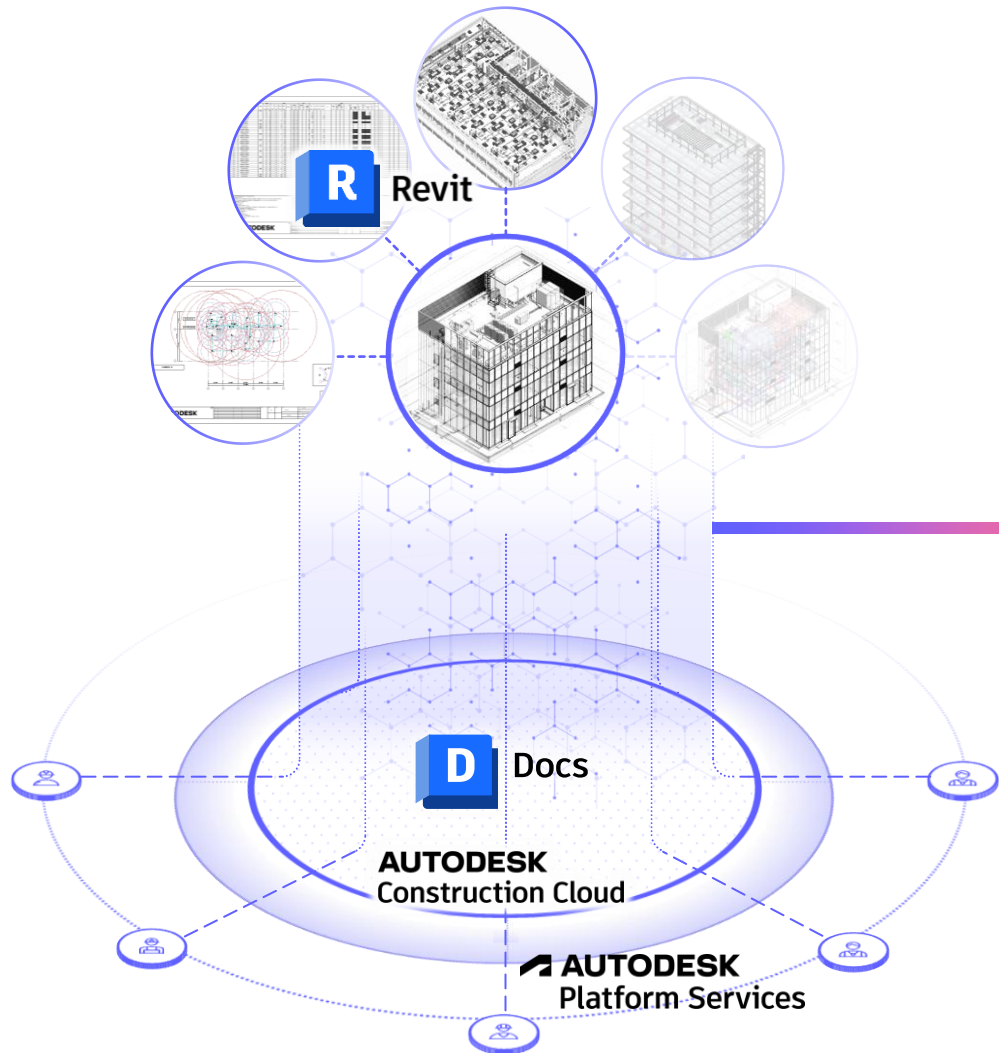


# 没入型共有体験ソリューション



# 初期段階のプランニングと設計

**AUTODESK**  
Forma



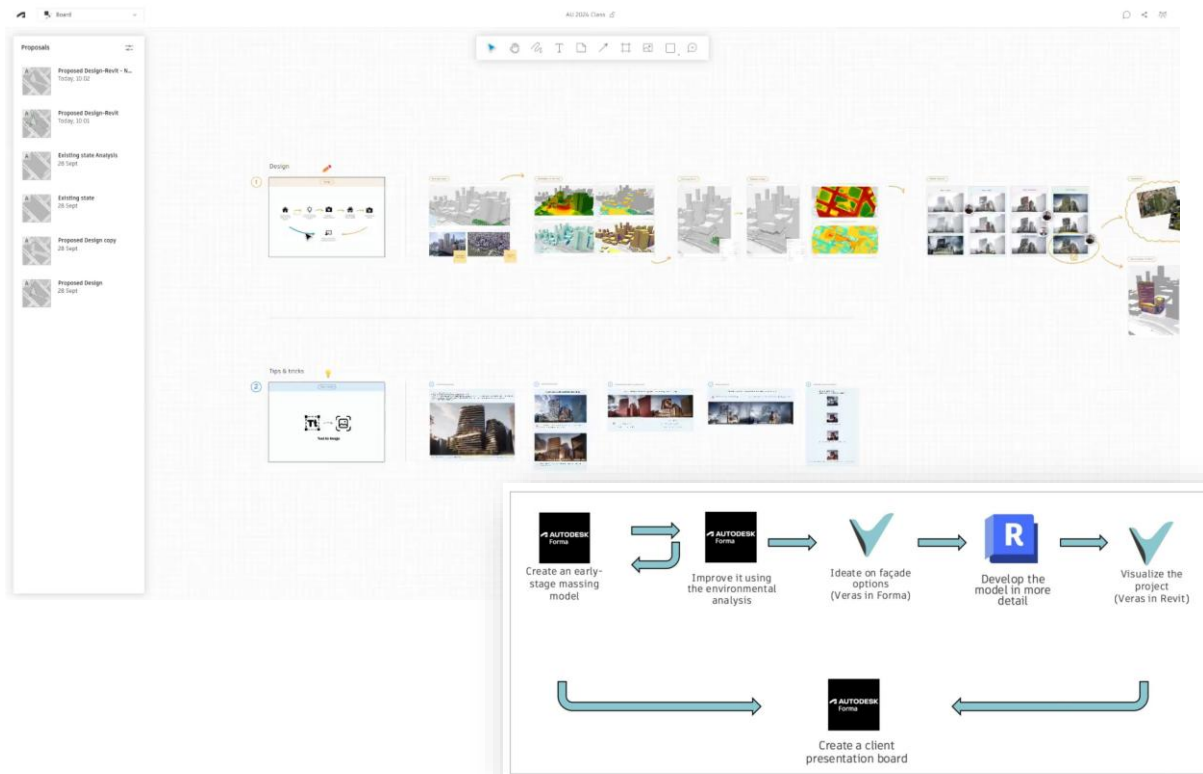
The screenshot shows the Autodesk Forma software interface. The main view is a 3D city model with a red building footprint highlighted. To the right, there is a sidebar with various analysis tools and settings. Below the main view, there are five small thumbnail images representing different analysis types: 微気候 (Microclimate), 風解析 (Wind Analysis), 太陽光発電量 (Solar Power Generation), 日照量 (Solar Radiation), and 騒音 (Noise). To the left of the main view, there are two circular icons: one with a gear and the text '解析' (Analysis) and another with a brain and the text 'AI連携' (AI Integration).

**AUTODESK** AI

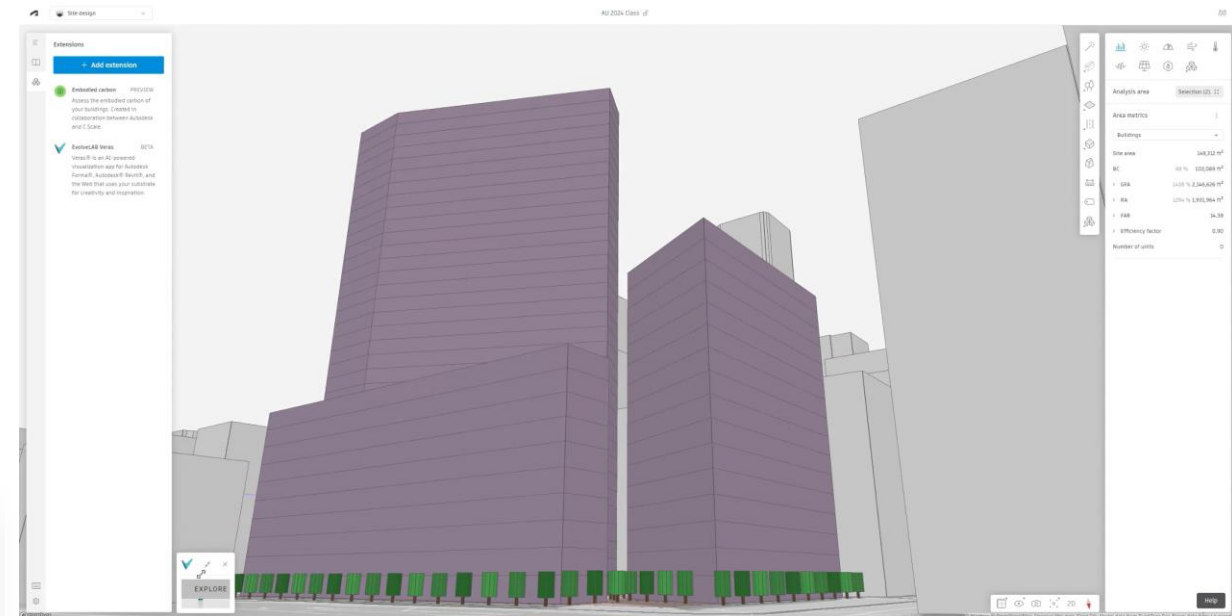
# 初期段階のプランニングと設計

[How to start using AI for design storytelling | Autodesk Forma](#)

## Forma Boardでコミュニケーションを円滑に



## 3rdパーティーツールとの連携

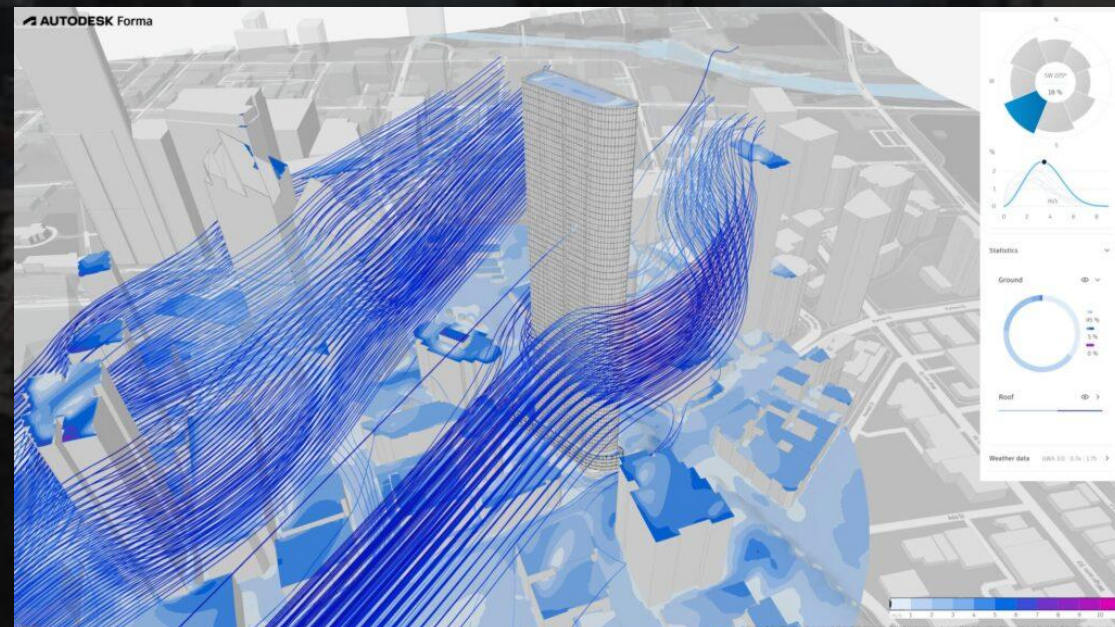
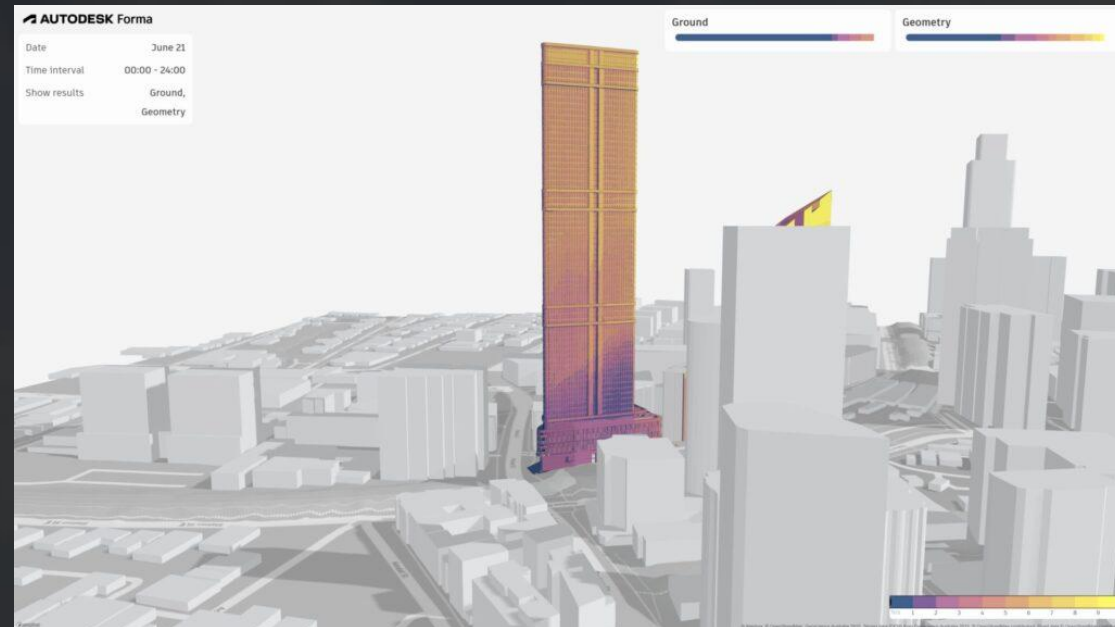


Forma + Revitを用いた企画フェーズにおける新しいワークフロー

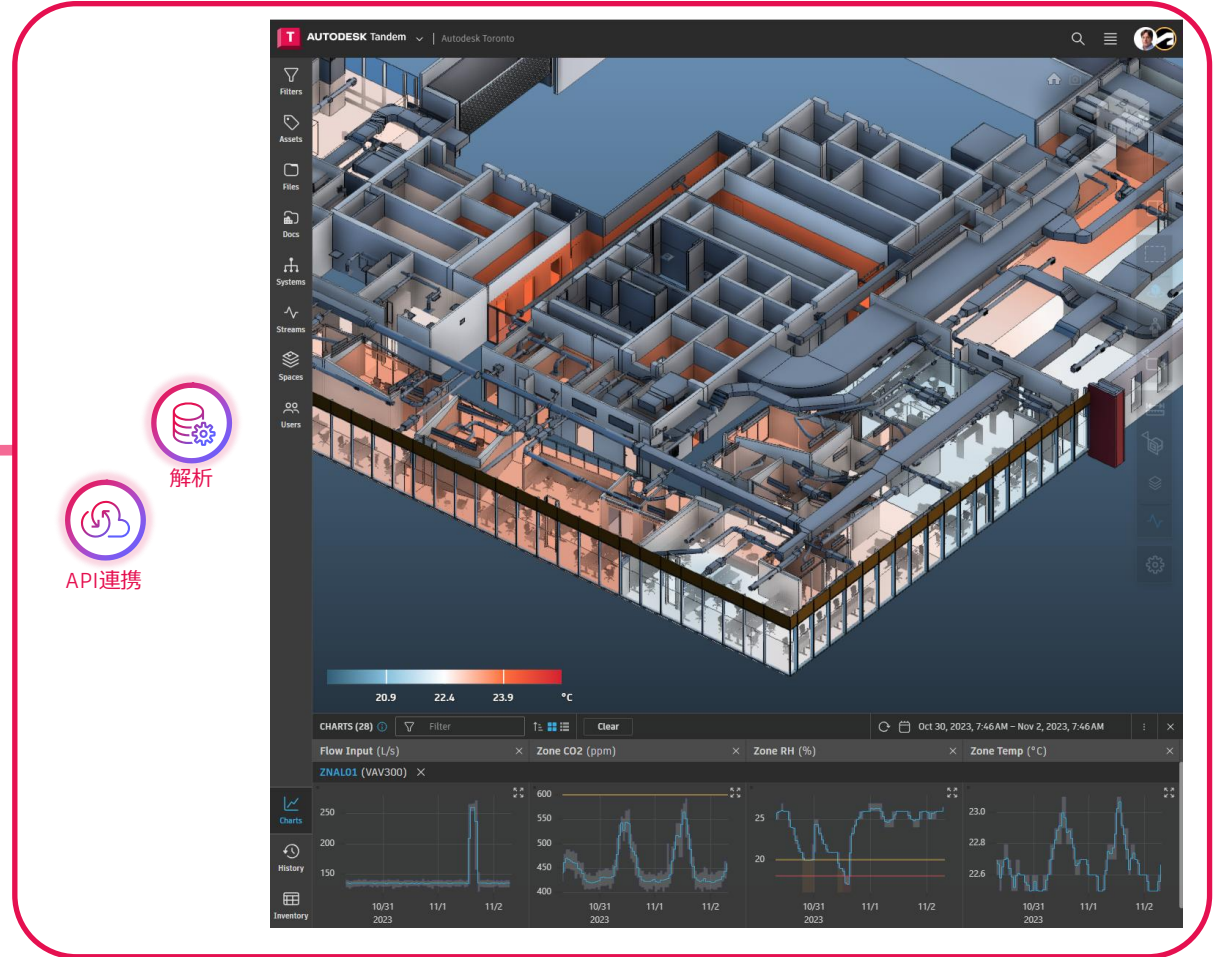
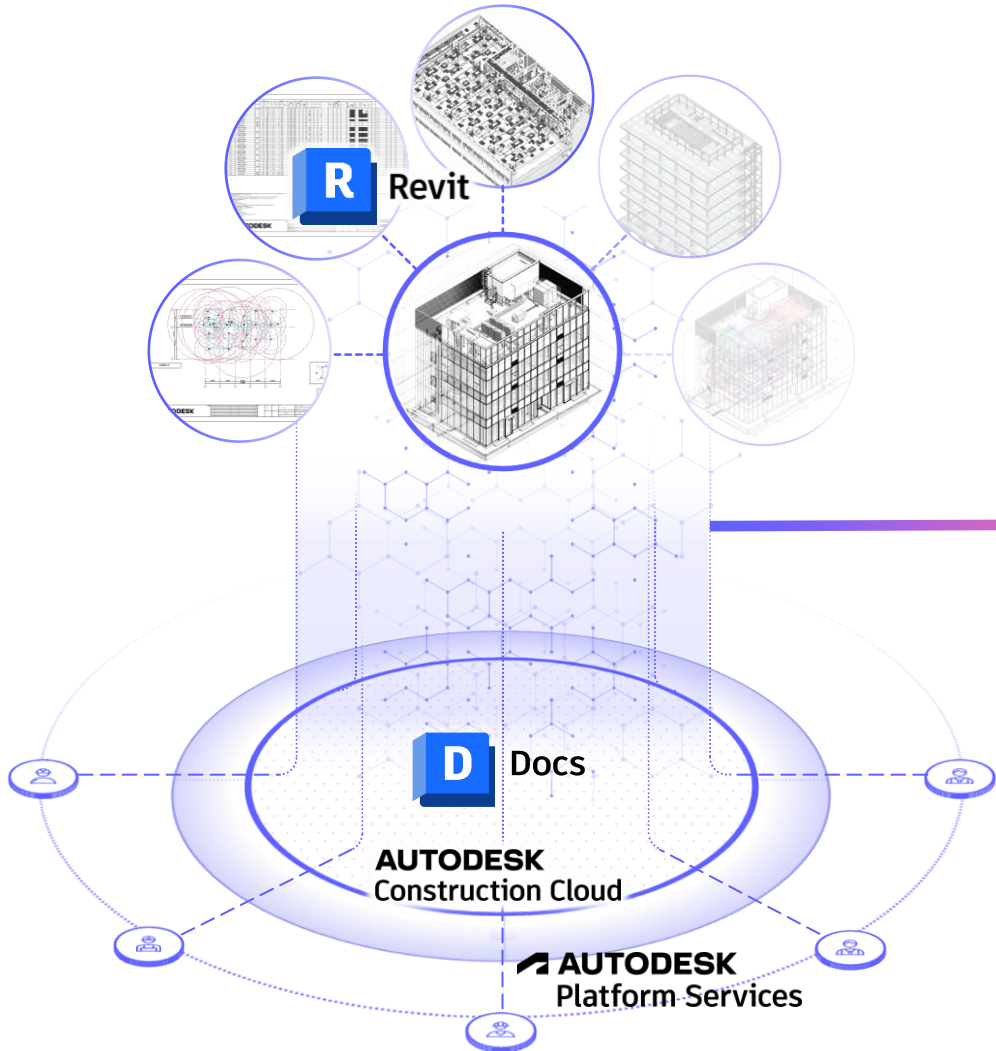
# GRAY PUKSAND

## Autodesk Forma導入による 設計業務の効率化

- 初期設計のワークフローを効率化
- 面倒な作業を削減し、創造業務に集中
- 情報を一元化し、複数案を迅速に作成
- 環境分析で即時コンプライアンス確認
- データに基づく提案でクライアント満足度向上



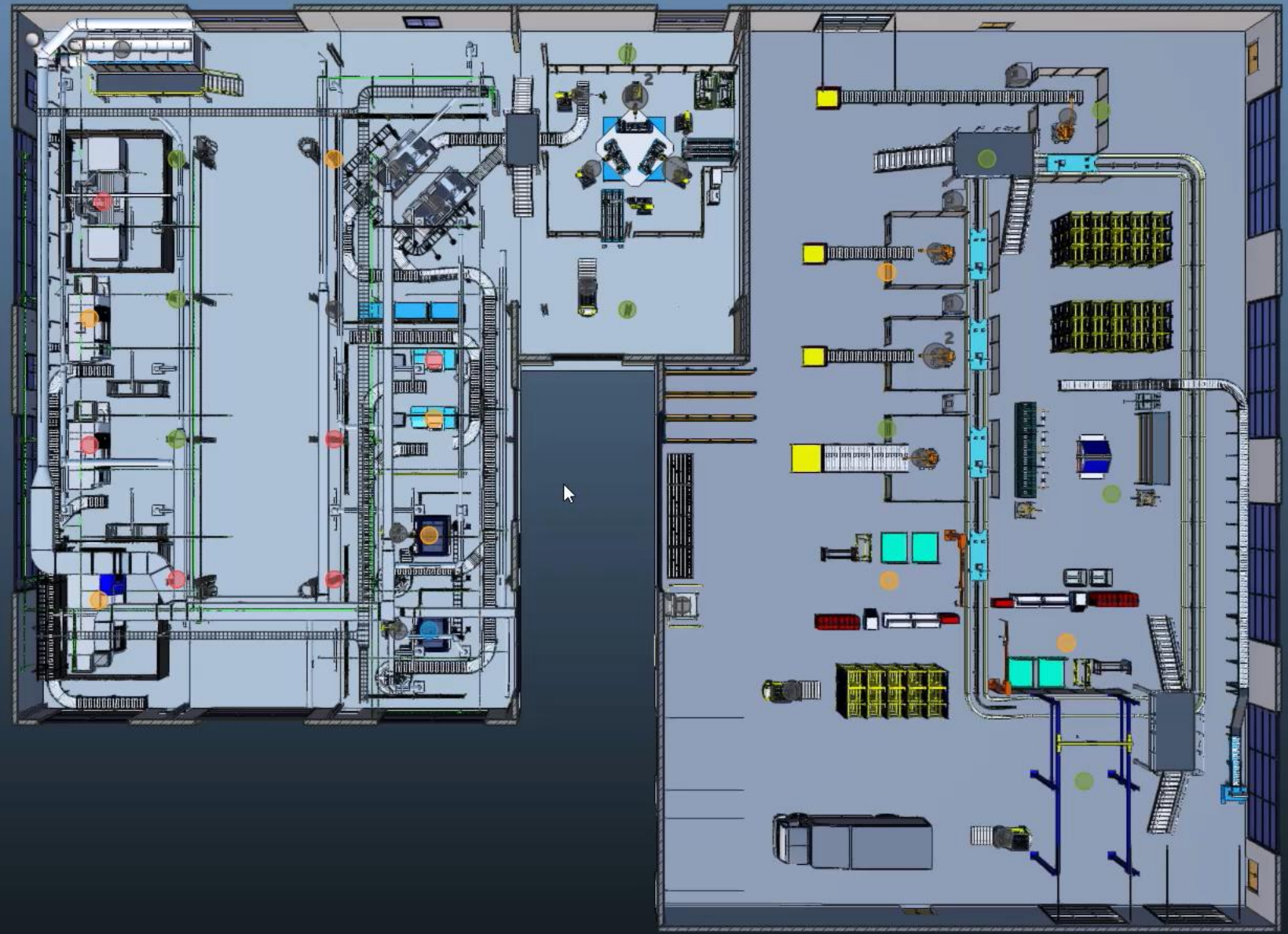
# 維持管理ソリューションへの連携





- Filters
- Assets
- Files
- Docs
- Systems
- Connections
- Users
- Streams
- History
- Inventory

Wednesday, March 5, 2025 2:01 PM CST Live



# 清水建設

## アセットマネジメントの活用

- 固定資産管理の可視化と効率化
- 棚卸し業務の負担軽減と精度向上
- クラウド型3D資産管理で所在・保守・更新が簡単
- 台帳と3Dモデルが連動し管理業務を効率化
- 視覚的管理でミス削減、導入が進行中



## Facility Data Hub

11月19日 読売新聞

清水建設は、オフィスや工場内の様子などを3D（3D）のデジタル空間で再現し、机・椅子などの備品、製造用機械などの固定資産の状況を管理できるサービス「Shimz One BIM+」を企業に提供する。建物内に在る資産の管理の効率化や省力化を図る。

企業は会計上、取得金額が10万円以上の備品を固定資産として管理し、経理データを反映して減価償却費を計上する。机や椅子、棚といったオフィス用品や、工場内の様々な機械の配置、耐用年数などを毎年度更新する必要があり、企業にとって負担となっている。

清水建設のサービスでは、

### 固定資産 3Dで楽々管理

清水建設 オフィスの机や棚再現

建物の各階、部屋の3Dモデルを作成し、オフィス用品や機械の実際の配置、購入した時期、その後の利用期間などを含んだデータをクラウド上にアップロードして表示する。備品の廃棄や反転できる。サービスには建物標準的な建物でサービスを利用する場合、基本料金は200万円/年、維持管理費として年10万円/年を定額。すでに金庫やエレベーター、空調機などが入り、年100万円/年を定額として法人向けサービスを提供している。清水建設は、このサービスを通じて、

11月21日 当社プレス発表  
固定資産管理サービス「Shimz One BIM+（プラス）」を提供

2024.11.21

清水建設（株）（以下「清水」）は、BIMの機能を活用して企業の設備資産を可視化する固定資産管理、とりわけ机・椅子などの備品の管理を効率化するサービス「Shimz One BIM+」の提供を開始します。サービスの導入費用は、BIMデータがあり、フロア面積2,500㎡、管理対象となる机・椅子が500点程度の新築のオフィスの場合で標準料120万円、保守費用60万円/年となります。すでに、自動車メーカー系の生産施設、自動車販売店の事務所などへ導入が予定されています。

基本料金は、企業が所有している固定資産のうち、使用期間が1年以上、取得価格が100万円以上、減価償却の対象となるもので、オフィスの机・椅子、備品の多くが固定資産となります。企業は会計上、取得金額が10万円以上の備品を固定資産として管理し、経理データを反映して減価償却費を計上する。机や椅子、棚といったオフィス用品や、工場内の様々な機械の配置、耐用年数などを毎年度更新する必要があり、企業にとって負担となっている。

清水建設のサービスでは、

一方、多くの固定資産管理システムが提供されていますが、各社の記帳とデータの連携が実現するだけで、管理上の一歩の前進となる資産の所在確認や維持管理の導入という課題は一向に解決していません。そこで清水は、BIMの機能を活用して3次元の可視化で固定資産管理を効率化するサービス「Shimz One BIM+」の提供を開始しました。

「Shimz One BIM+」は、100以上の3次元の固定資産管理が可能な、新築ビルの場合、導入までに要する期間は約2か月です。この間、顧客は固定資産管理台帳へのデータ入力、または事務所外のレイアウト等の画像、既存BIMデータに機材・備品を配置した3次元モデル（仮想空間）の作成、台帳と3次元モデルのデータの連携などを行います。机・椅子などのBIMのフォーマット（シート）は主要なオフィス家具メーカーが提供しているものを、基本として提供しているものの、カスタムデータが出力されます。導入には、3次元モデルのレイアウト画像（機材配置台帳の参照）、クラウド利用料、ヘルプ（問い合わせ対応）などを定めます。なお、BIMデータがない場合の新たなデータ作成、機材のフォーマット作成は別料金となります。

「Shimz One BIM+」を導入すると、3次元の固定資産管理台帳により、機材の位置による固定資産の棚卸し業務が一貫します。従前の固定資産管理台帳に記載されている機材の位置をリンクすると、3次元モデル上の機材の色分け表示されるので、簡単に所在を確認できます。逆に3次元モデル上の機材の位置をリンクすると台帳上の機材の位置とリンクする固定資産管理台帳の欄が表示され、機材の所在確認や維持管理の導入すると台帳上の機材の位置と固定資産管理台帳の欄が連携して表示されるようになります。

「Shimz One BIM+」の無料システムは、オートデスクが提供する「Revit」形式のBIMとクラウドベースのクラウドシミュレーションプラットフォーム「Tandem」です。国内ではクラウドベースのBIMで設計された物件を中心に当サービスの導入の機材が増えており、平均100坪程度の物件の導入の準備が完了しています。

什器・備品を配置したBIMの3次元モデル

Autodesk University2025  
Expo Theater 出展予定です

清水建設がShimz One BIMを基盤として竣工BIMデータを様々な用途に援用する  
新サービス提供 | 深堀り取材【毎月更新】 - BuildApp News  
2025年度日建連BIMセミナー 清水建設 アセットマネジメントへのBIMデータ活用

## BIM

- BIMによる確認申請
- BIMがより使いやすく！
- 施工BIM（建築/設備）

## 共通データ環境（CDE）

- 設計・施工での活用
- オーナーでの活用

## データ活用

- BIM/CDEのデータ活用
- BIMと連携したソリューション



# AU 2025: The Design & Make Conference

2025年9月16日～18日  
テネシー州ナッシュビル



AU2025の詳細はこちらから。  
是非ご登録ください！

#AU2025

